京城日報

二十九日夕刊
(朝夕刊と併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵税一ヶ月金十五錢▲三ヶ月分金一圓六十錢▲前金に限り四ヶ月分金代用は三割增
廣告料金 ▲五號十五字詰一行八十錢▲七號十八字詰一行五十錢▲三行以上一行一圓▲二十行以上一行一圓四十錢▲六號廿四字詰十八字一行
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 編輯局六千九番 營業局六千九番 振替口座京城三〇〇番

總督祝辭

大正水利竣工式に於ける

二十八日大正水利組合竣工式に於て長谷川總督の爲せる祝辭左の如し

大正水利組合の灌漑工事完成し本日を以て竣工の式を擧ぐるに至りたるは邦家の爲眞に慶すべきなり惟ふに水利事業は土地利用の基礎にして農政上最も重要なる所なり然れ共若し其の計畫を愆り管理宜きを得ざるときは豐沃の壤土一變して不毛の地と爲るの虞なしとせず是れ水利の難事業たる所以なり是を以て本組合は其の業を創むるに當り地を相し工を施すに於て講究盡さゞる所なく二星霜の歳月を費し百三十萬圓の資材を投じ能く水勢を導きて七千町歩の平野を灌漑す其の計畫を愆らず成績の著明なること此の如し組合當事者の勞洵に多しとすべし庶幾くは爾今管理亦宜きを得て其効用を全うし以て長へに地方を利し兼て邦家を益せむことを一言以て祝辭と爲す

聯國對露態度決定

出兵問題は機會を待つことゝす

聯合國は米國の政策を認容し暫らく露國を監視し出兵問題は機會の到るを待つことに決定せり(桑港電報)

露食糧暴動と罷業

食糧暴動は各州の町々に起りたるが ニジニノブロドにては殊に烈しく又ワルモボコウゼウの商人一萬人は憲法制定會議再設に對する要求を貫徹せん爲め一同同盟罷業を爲す決議を爲せり(莫斯科電報)

敵を擊滅する迄

戰を繼續せん=米大統領の聲明

米國大統領ウイルソン氏は兩院聯合會に於て新歳入法案の必要あるを說き且つ曰く增稅案の主要財源は戰時利得稅に依る收入たる可し世間の奢侈は戰爭の爲め得たる不當利得に依るものなる事爭ふ可らず此不當利得は新課法に依り制止するの方法を取るを要す而して米國軍隊の佛國に派遣せらるゝ者益々增加しつゝあるを說き敵を擊滅する迄鬪はざる可らざる旨の決意を重ねて聲明せり(華盛頓電報)

廣東政府總長顏觸

廣東軍政府の各部總長の任務は多分伍廷芳氏外交を兼ね唐紹儀氏財政總長となり林葆懌氏海軍を兼ね陸軍には岑春煊、陸榮廷、唐繼堯の三氏是れに當り交通、司法の兩部は不日還任す可しと(上海特電)

日支協約內容發表

日支軍事協約の成立經過精神、理由、範圍等軍事の機密に觸れざる限度に於て之れが內容今明日中に發表せらるべし(東京電報)

建造戰艦命名

海軍にては今年度に吳工廠、川崎造船所に於て起工す可き長門の姉妹艦なる四萬噸級戰艦二隻を『加賀』『土佐』と命名せり是れにて八六艦隊の戰艦八隻は完成を見る豫定なり(東京特電)

岡田博士通過

醫學博士岡田和一郎氏は朝鮮醫學會臨席の爲め廿八日朝釜着直ちに京城に向へり(釜山特電)

阪谷男の財政顧問

柿內滙銀專務談

滙業銀行專務理事柿內常次郎氏は二十八日釜山經由東上せしがその談に曰く今回東上の用向は主として

▲東京支店 或は支店とせぬまでも一つの店を設くるためであるが、色々東京に於て處理すべき行務が多くなつたのでどうしても一店を設けぬと各種の支障を感ずる積りである、又上海の支店も九月頃までに設くる積りである、滙銀の預金ですか彼是れ二百五十萬圓で貸出は百七十萬圓に過ぎない、又滙銀の扱ひで支那政府と鮮銀興銀臺銀との間に四月三十日に二千萬圓の電信借款を成立さしたがこれは全支那の電信事業が擔保になつてゐて資金は又新設電信事業に投ずると云ふのだから極めて確實なものです、阪谷男の財政顧問々題も色々說はあるが

▲結局就任 されるであらうと信ずべき節がある一體支那幣制改革の意見はいくつも〳〵出來てゐてそれが財政部には筆身の高さに積んである、阪谷男の抱持された意見の如き正にその提出された多數の意見の一と合致してゐるらしい、然しいかに完全な意見があつても支那にはその實行力が缺けてゐた、それが支那幣制改革を鈍らしてゐる最大の憂患である、それには南北の妥協とか兵權の統一とかが先づ出來ねば財權の統一

▲幣制の改革 と云ふ事は至難であらうし阪谷男も財政顧問に就任されても持論の實行は餘程六ケしい問題であらうと思ふ

加俸改正發布

小鹿島內在勤者に對し

大正二年總督府令第二十六號總督府及び所屬官署職員加俸に關する件中改正の件は三十日府令を以て發布さる可きが右は全南高興郡小鹿島は邑內より海上五里を距て交通に非常なる不便を感じ生活上物資の供給を仰ぐ點に於て何等濟州島と異る處なきの狀態なるを以て同島內在勤者に對し相當優待の法を講ずべき必要あるに依り今回之れが改正を見たる次第なりと

警察官服制令

豫て法制局にて審査中なりし朝鮮總督府警察官服制改正案は愈々審査結了せるを以て近く勅令を以て發布さる可し

各道視學任命

二十七日附を以て左の如く各道視學任命發表ありたり

▲慶北古市橋之助▲忠南石川伊三次▲黃海與原威六太▲全南市川繁次郎▲平北高松武吉▲咸南漆原六郎▲咸北井上圖平

右以外の各道視學は各地に於ける官吏より選任近く任命を見る可し

辭令

二十八日附左の通り辭令ありたり

任總督府視學官(六等) 京城女子高等普通學校教諭正七位 田中廣吉

總督府視學官兼京城高等普通學校教諭 中村一衛

兼任京城女子高等普通學校教諭(七等) 總督府視學官兼京城中學校教諭 阿部丁藏

兼任京城高等普通學校教諭(八等)

慈惠醫院長會議

(第一日)

慈惠醫院長會議第一日は二十九日午前九時より總督府第二會議室に於て山縣政務總監統裁の下に開會古海警務總長芳賀總督府醫院長ほか總督府より荻田總務局長、村田鑛務課長の兩氏並に來鮮中の和田維四郎氏も臨場せりを始め各關係諸官列席院報日程を變更し直ちに諮問事項に入り正午散會せり

輸入物件禁止令廢止

ペスト流行地より

ペスト流行地より物件(襤褸)輸入禁止令廢止の件は三十日府令を以て發布即日施行さる可きが右は明治四十三、四年の當時支那滿洲各地に肺ペスト流行を極めたる際防疫應急處置として府令を以て流行地たる物件の輸入を禁止したるものなるが既に該病終熄の今日當然其必要を認めざるに依り今回之れが廢止を見たるものなり

兼二浦製鐵所火入式

二十九日擧行

兼二浦三菱製鐵所にて數年來準備中なりし製鐵施設は今回愈々完成せしを以て二十九日午前十時より鎔鑛爐火入式を擧行せしが同製鐵所は一年銑鐵產出十萬噸計畫となり居るに付一日の產鐵量は約二百六七十噸なるべく兎に角朝鮮製鐵事業の嚆矢と稱するを得べし

大正水利竣工式

長谷川總督臨席

百五十萬圓の巨費を投じ七千餘町歩の沃田に灌漑の道を開きし大正水利組合竣工式は二十八日午後五時より總督臨場の下に莊嚴に擧行さる此の日午後に至つて天限なく晴れ亘り

▲絶好の竣工式 日和なり長谷川總督は釜屋高橋兩武官齋藤副官神田秘書官を隨へ二十八日午前九時三十分批峴驛著出迎ひの藤川平北長官矢野警務部長石原新義州府尹藤井寬太郎氏等と共に直に大正水利通水路に向ひ三艘の小舟に分乘總督は釜屋武官藤井組合長と第二船に乘り正十時出帆、回虹山のトンネル、沿線の狀勢通水路の態樣大正水利の計畫不二農場の施設等に付藤井氏より詳細の說明を聽取し兩岸の堤防には

▲數萬の鮮人 堵列し民家には日章旗を揭げたるもあり途中天候晴れたるを以て總督は愈々水路下りに興趣を覺えつゝ午後四時二十分府羅里不二農場に到著工藤平南長官坂田技師荻田局長其他の出迎へを受け不二農場應接室に少憩の上一同を隨へ農場背後の信地山に登り山頂に設らへし式場に到着雷聲三發を合圖に開式先頭に神事藤井氏、長谷川總督、藤川平北工藤平南兩長官の玉串奉獻技師の工事報告、藤井組合長の式辭長谷川總督の祝辭藤川平北長官、川上東拓理事(關屋土木課長代讀)その他の祝辭

▲寺內首相 宇佐美長官、石塚東拓總裁(別項參照)その他の祝電朗讀あり午後六時に式を閉づ直ちに農場前倉庫內に設けられし大宴會場にて開宴藤井組合長の挨拶に對し長谷川總督は起つて水利計畫完成の祝辭と鄭重の招宴を謝する旨の答辭あり餘興に移る頃

▲總督一行は屋外に出で總督自ら群衆に錢撒きを行なひて參會者を喜ばし又屈强の鮮人角人四人の選拔取組に對し

▲優勝者 一名に牛一頭を賞與七時自動車五臺に分乘南市より新義州に向へり尚ほ當日此の鴨綠江畔空前の盛典を見んとする近郷近在の鮮人の來集するもの夥しく附近一帶は白衣の人を以て埋むるの壯觀を呈し手踊り角力、綱渡り、錢撒きの餘興あり觀衆二萬と註せられたり(不二農場にて特派員)

祝電

本日の竣工式を祝し前途の大成を祈る 寺內首相

灌水式の盛典を祝し併せて貴組合前途の隆盛を祈る 宇佐美內務部長官

御竣工式を祝し將來の御隆運を祈る尚ほ本日の御盛典に參列し得ざるを遺憾とす 石塚東拓總裁

鐵、石炭需給に就て(三)

高、井出兩博士の意見發表

於鑛業會講演會 石渡信太郎氏講演

鐵鑛は高博士の發表に依れば內地一億一千九百萬噸、朝鮮一億七千三百萬噸、滿洲六億噸、之れが日本及び日本の勢力圈內に於ける地下に藏せる總量である、併し其全部を採掘し得らるゝものではない

▲或程度迄採掘 すると實際に採掘の可能量は右の總量よりも迥かに少ない、井出博士は日本內地の地質に鑑み採掘量を五千五百萬噸と見積りて之を萬國地質學會に發表されたが無論行く〳〵は採鑛方法も進歩するであらうし尚ほ疑問であるが硫化鐵鑛處理の技術も進歩するであらうから假りに是等に依りて一千萬噸の鐵鑛が殖ゑるものとして總計六千五百萬噸であるこれを逐年增加し行く我國の鐵を全部自給するが爲めに採掘すると僅かに十一年を支へ得るに過ぎない十二年目から朝鮮の鐵鑛のみを使用すると之れが十年間、結局

▲大正三十年頃 には日本で採鑛し得る丈けの鐵鑛は盡きることになる眞に心細い有樣である次に石炭は何うかといふに明治四十四年末發表された農商務省の調査に依ると全國の炭量は既に採掘せるもの八十六億九千萬噸、未採掘のもの三億八千萬噸と同じく全部採掘し得るものではないから私は地質其他の自然的理由又は經濟等の關係から採掘に堪へ得べき總量を三十五億噸と見る然るに我國に於ける既往の採炭量は明治十年には五十萬噸に過ぎなかつたものが同三十年には

▲五百廿四萬噸 大正五年には內地二千三百萬噸、樺太から二千三百萬噸外に朝鮮でも掘つて居る如斯出炭增進率は頗る大きい尤も需給關係から見れば輸出あり輸入ありで出炭全部を消費した譯ではない輸出は大正二年の三百八十七萬噸を最高とし漸減の傾向を示し輸入は大正三年の九十五萬噸を最大量とし年次遞減しつゝある輸出減の原因は主として國內に於ける消費增加の爲めである、消費の增加は主として工業の發達に因るもので筑豐炭のみにても大正五年中の全出炭高九百七十八萬噸の內五百八十萬噸、同六年には一千九十二萬噸の內

▲六百六十八萬 噸は工場に送られたのである、昨年中製鐵其他の工場にて消費せるもの一千五百萬噸に上るであらう國內全般の消費量は過去十年に八割の增加である今後の十年には少くも倍加する大正十七年には五千萬噸の需要と見て大差あるまいと思はれる

中央市場條規案(五)

京城商業會議所研究案

第十三條 事務所は問屋仲買人小賣人又は生產者に組合を作らしめ又は之を解放せしむる事を得

問屋仲買人等が組合を作り取引方法を統一改善し又は彼等の爲めに有利なる途を保障するは彼等の共同的利益のみならず彼等相互の關係及び市場又は事務所に對する關係上頗る希望すべき事なりとす然れども彼等が

▲不幸にして 端に鬩ぎ組合を作る事能はずして事務所が彼等に對する交涉機關を有せざる時は市場の管理經營上甚しく不都合を生ずべきを以て事務所は命令的に彼等に組合を組織せしむる權能を與へ置かざるべからず之れと同時に既存組合の勢力强大にして市場の不利を來すべき行爲ある時は之を解散するの權能も亦事務所に與へおかざるべからず即ち本條を必要とする所以なり

第十四條 事務所は市場內の取引を調査し正確に之を記錄す

事務所の主たる事務は市場の管理經營に在りと雖も一面より見るときは市場の調査機關たらざるべからず即ち市場の中樞に立ちて得日の經濟の實狀と變遷を調査するものなるが故に努めて正確なる調査を遂げ常に官廳又は其他に

▲研究材料を 提供せざるべからず商業會議所の重要事務の一たる價格調査の如き其の思想を要することと蓋し鮮少ならざるを信ず茲には乃ち事務所の義務として之を規定せり

第十五條 事務所は朝鮮產の試驗又は其の貨物の批評を依賴せられたる場合に其の貨物が本市場に販賣するものと同種のものなる時は其依賴を拒む事を得ず

京城の公設市場は京城の爲めの市場たるを本來の性質とすれども自ら朝鮮の中央市場たる使命を有するものなり故に市場にして餘力あらば京城のみならず更に廣く公共の爲めに貢獻するの覺悟を必要とす殊に朝鮮に於ける產業は發芽時代に屬し現今各道廳に於て或は技術に於て其地方の遺利を求め

▲利源を啓き 以つて其の利用に極力盡瘁しつゝあるは能く人の知る所なり而して當會議所の從來の經驗によれば地方に於ける此等の新產物は果して社會の需要に適應せるや又は其の需要あるやを知らん事を努めつゝあれども未だ適當なる販賣者を有せず試驗の機會を求むる能はずして生產物の處置に惱みつゝあるもの尠からざるが如し本市場の事務所は此缺陷を補ふには最も適當せる地位にあるが故に朝鮮產業の爲めに本條規定の事務を取扱ふは時勢に相應したるものなるを疑はず聰明なる讀者の批判を聞かんと欲す

第十六條 事務所は市場內の取引に關し紛爭を生じたる時其の調定又は仲裁を依賴さるる時は之を拒む事を得ず

本市場內に於て取引上の紛爭或は頻出することあるべし然れども其等の

▲紛爭に就き 一々裁判所の判決を仰ぐが如きは啻に取引の澁滯を醸すのみならず市場の面目上成るべく之を愼まざるべからず特に朝鮮の如き濫訴健訟の弊に陷れる地にては更に之を誡めざるべからず事務所は此點に鑑み市場內の紛爭に就きては公正の地位に立ち速かに居中調停し又は仲裁判斷して取引を安全敏活ならしめ市場の弊風を矯正して健全なる發展を圖らざるべからず然れども裁判所に於て裁判を受くるの權利は憲法に於て保障せらるゝの權利にして之を排斥して事務所が調停又は仲裁する權能を有するものとするは穩當ならざるが故に依賴せられたる場合には之を拒む事を得ずとし一には事務所が單に

▲監督經營の 機關として一には又市場取引に超然たるを得ざらしめ一には又市場取引の進行を援助せしむる事としたり

鐵道浦鹽運貨注意

滿鐵京管局內にては朝鮮郵船會社航路浦鹽行大小荷物は運滯取扱中止しあるに拘らず往々之れが取扱及び其の申込をなすものあるを以て之れが注意を爲しつゝあり

露貨換算率變更

東滿鐵道にては五月廿六日以降日滿連絡貨客運賃に代用すべき日露貨幣換算率を百圓に對し四百八十留とする旨通知ありたり

京畿道會計檢查

會計檢查院副檢查官水島房吉氏は廿九日より向ふ三日間京畿道廳の會計檢查を行ふ可し

鮮銀券發行高

朝鮮銀行券總發行平均高は五月十九日より二十五日迄の銀行券總發行平均高は五千八百二十七萬七千四百六圓にして內正貨準備發行高平均二千四十萬四千八百十八圓保證準備發行平均高三千七百九十八萬五千百七十五圓九十錢也

鈴木長官出張

鈴木慶安部長官は人蔘耕作者並に使傭人褒賞授與式臨席の爲め二十八日附開城へ出張を命ぜられたるが六月一日出發即日歸京の豫定なり

▲南陽農事視察團 京畿道南陽郡農事視察團一行二十名は廿九日朝京城發水原に向へり

▲京都商商生一行 京都第一商業學校職員生徒一行三十六名は廿九日朝安東より入京原金旅館に投宿市中其他の觀光を爲せり

大田

▲簡易工業開校式 大田公立簡易工業學校開校式は二十七日午後一時より公立普通學校內に於て擧行郡守の式辭、上林道長官の告辭、來賓總代岡本中學校長の祝辭あり終つて公認諺業傳習所の開所式に移り金所長の式辭上林長官の告辭等あり後來賓一同木工教室に於て茶菓の饗應を受け午後三時散會せり因みに同校本年度の入學生は十五名の豫定にして修業年限は二箇年科目は當分の內指物、挽物(轆轤細工)の二科にて追々家屋建設科をも加ふべしと

鳥致院

▲在鄉軍人會 二十七日午前十時より鳥致院在鄉軍人會春期大會を催ほせるが多數官民有志の參會あり式後會員の角力擊劍徒歩競走あり近來稀なる盛會なりき▲今秋の菊花品評會 愛菊家たる藤田憲兵所長、飯島驛長等發起となり今秋鳥致院名物の菊花品評會を催すべく二十餘名の贊成者あり數百鉢の出品ある外各地よりの出陳もあるべしと

人事消息

▲山本唯三郎氏▲山崎猛氏(松昌洋行) 二十九日朝出發歸東

▲岡村左右松氏(日本興業重役) 二十九日平壤より入京巴城館へ

▲高木醫學博士 二十八日夜釜山より入京朝鮮ホテルへ

▲野口次郎三氏(總督府農務課技師) 二十[illegible]日附を以て京畿道江原道黃海道平安北道咸鏡北道平安南道管內へ出張を命ぜらる

▲藤森幸平氏(同土木課技師) 同二十[illegible]の豫定にて慶尙北道迎日郡管內へ出張を命ぜらる

▲橋本鎰五郎氏(京城醫學專門學校教授) [illegible]月十日より二ヶ月間病理學に關する研究の爲め京都帝國大學醫科大學へ[illegible]日附出張を命ぜらる

▲稻村晉之助氏(釜山日報社長) 二十[illegible]朝入京天眞樓へ

大正水利組合行

信地山麓へ

不二農場にて 一記者

▼二十六日早曉から暫らく雨は止んで居たが午前六時半頃から又盛んに降り出した[illegible]鬱陶しさうに旅館の窓から深く[illegible]州の空を見上げてゐた、もとより此の[illegible]竣工式執行きは不可能であらう、果して[illegible]りとすれば延ばすか、又は留まつて晴れを待[illegible]か二途の中その一を選む外はない

▼入時近い頃、水利組合の理事者から[illegible]中止の報ありし總督の再來說を傳へて[illegible]そして今日雨が降つても水路を批峴から式場たる不二農場に下り、二十七日の[illegible]督一行の者を待つて式を擧げると附け加へ[illegible]總督が見ゆるなら一から誰も云ひ合ひ[illegible]何等雨天を問題とせず、各自思ひ〳〵に[illegible]新義州停車場に驅けつけた

▼新義州から批峴驛に着いたのは[illegible]に近かつた、雨は盛んに降つてゐる、[illegible]の間に藤井組合長から批峴川沿岸の[illegible]き鐵道線路と水路の交叉せる點に用意され[illegible]屋形船十數艘に分乘して、七里の水路を[illegible]面の不二農場に向ふ、水路の舟下りは之れ[illegible]社會部面に記す事としたから茲には[illegible]かう

▼唯水路を下つて感じた事は大正水利組合[illegible]の計畫の雄大と規模の壯んなる事であつた[illegible]義州郡院洞の吉祥江から八間幅の水路[illegible]十里十五町、支線地に分水溝を入十里餘[illegible]きに亘つて設け、七千餘町歩の沃田に灌漑[illegible]んさする着眼は確に朝鮮國境に於ける[illegible]稱してよい、水利事業費百五十萬圓、不二[illegible]場の干潟地開墾及耕地整理費七十餘萬圓[illegible]て二百二十餘萬圓の資金を投じたのは朝鮮[illegible]業界に於ける空前の大施設たるを失はぬ

▼然し乍ら瞥見する所、唯出來上つた[illegible]ふ丈のものであつて、當日は水量の[illegible]り併せる故もあらうが、肝腎な水路堤防の[illegible]きまだ〳〵大分勞力を費やしての修築を行[illegible]ひ草生を圖り植樹を勵行し大に堅固を期せ[illegible]は、平調を破る連日の大雨に際會して其の[illegible]路の增水と堤防の浸水を見んか、決潰沼澤[illegible]云ふ事は珍らしい出來事であるまいと思はる

▼午後五時半から六時すぎまでに船は批[illegible]後して不二農場の近くに著いた、雨はいつ[illegible]止んでゐた、農場は若松の疎立し怪石の散[illegible]せる信地山を背後に南面して建てられた二[illegible]家で大倉庫や附屬の建物を有し、宛然[illegible]が展開し、潤然たる眺望は一行の疲れを[illegible]めて、近在の鮮人が雲霞の如く集まつて[illegible]のやうに構へてゐる、前面には施設たる不[illegible]踊りやら、綱渡りやら、相撲やらの餘興を[illegible]つてゐた

▼此の夜大倉庫に拵らへた宴會場で[illegible]盛宴があり事務所やら倉庫やらに百數十人[illegible]男女は分宿した煙火が空に上つた(廿七日夜)

王妃殿下の御養蠶
又昔外一種蟻量三匁に達す
繭は白帛に織つて 皇后陛下へ御贈呈

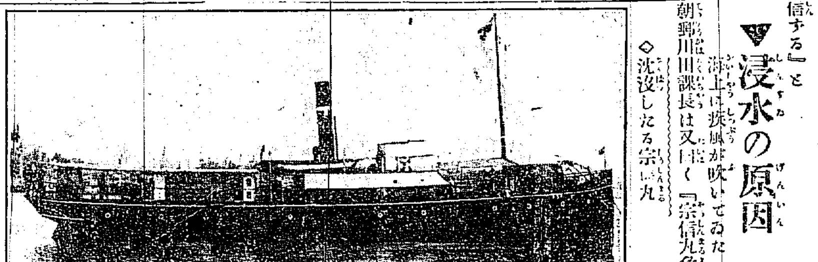
李王妃殿下は昨今毎日の如く秘苑に御成りの上親しく御養蠶に御手を染められ ◆蠶兒の 成長を樂しんで居らるるが之は去る七日掃き立てたもので種類は又昔外一種既に四齡を迎へ蟻量三匁目と云ふ珍らしい發育振りを示して居る、從つて食欲も頗る旺盛に毎日夥しい桑を要する相であるが桑は ◆秘苑の 中に幾らでもあるとの事、妃殿下は三名の女官と共に何くれとなく世話して居られるが御養蠶中は水原模範場の岩田技師が毎日出仕して親しく御監督申し上げる事になつて居る、斯うして出來た繭は美術品製作所で白帛に織り上げ皇后陛下並に皇族妃殿下方に ◆御贈呈 になるのが常であるが此繭ばかりで毎年十四五匹の白帛が織出せると云ふ事である

宗信丸沈沒
鎭南浦沖にて 乘員全部無事

朝鮮郵船會社宗信丸(二百噸)は廿七日午後四時鎭南浦出帆大連に航行中大同江口西島燈臺西北二十浬の處に於て船底に故障を生じ、潮水浸水したりしより船員全部防水に從事したるが如何ともする能はず止むなく西島燈臺西北一浬の處まで引還したる上船長以下乘員二十名、乘客二名船を捨て、無事西島に上陸したるが船體は遂に沈沒したり積荷は米二千百二十叺にて避難者一同は廿九日午前九時鎭南浦に歸還せり追て詳細後報すべし(平壤電話)

▼鴨川丸を派して救助した

右に關し遞信局伊藤海事課長は語る宗信丸は船齡十三年十一月で始め大阪の青山新太郎氏に由つて新造されて總噸數二百三噸の木造船である目下は朝郵自營航路鎭南浦大連線航路に就いて居たものであるが丁度二十七日夜九時鎭南浦を出港して大連に向ふ途中二十八日午前一時頃から ◆浸水を 始めたものらしい其の浸水の原因は未だ分らぬが大同江口の南方に在る西島に避難すべく逆航を企てたが西島の北西方約三哩位の所で浸水益々甚だしく機關に故障を生ずるに至り西島の燈臺から西北方約一哩の所で遂に沈沒の止むなきに至つたのである乘組員一同は西島へ無事避難することが出來た相である其れで出張所の ◆鴨川丸 を派して乘客乘組員を救助して鎭南浦に歸つたらしい、宗信丸は大池氏の釜山汽船株式會社の持船であつたが朝郵創立當時評價二萬何千圓で同社に移つたもので隨分年數を經て居る爲め時價にすると四萬五六千圓位だと信ずる」と



◇沈沒したる宗信丸

▼浸水の原因

海上には疾風が吹いてゐた
朝郵川田課長は又曰く『宗信丸危險の報に接して會社からは本社山川技師其他が昨夜鎭南浦に急行された此來此の鎭南浦大連線航路は始め大阪商船が長崎大連線航路を廢してから鎭南浦の切なる要求に應じ本年三月以來當會社が持船の宗信丸を以つて此の航路に充てたもので其の前迄は矢張り ◆自營航 路たる仁川鎭南浦線に就航して居た船である浸水の原因と認むべきものは同船が大連に向け出發してから海上疾風あり三角波を生じ本船の受くる動揺甚だしき爲め遂に海水の浸入を見るに至つたと言ふの外何等海水浸入の原因と認むべきものがないらしい ◆積荷は 米二千百二十叺である郵便物の搭載はなかつた筈である本船を失つた結果會社が直接受くる損害は大した者でないだらう」

香取丸坐礁
紀州虎ヶ島にて

兵庫縣西の宮辰馬汽船會社香取丸(二千〇六十九噸)は大阪より東京へ向け航行の途中二十八日午前一時紀州虎ヶ島に坐礁せるが引卸困難ならんと觀測さる(神戸電報)

杉野氏釋放
=は事實なり

最近イルクック歸客の談に據れば杉野副領事の釋放は事實にて氏は健全也と(大阪特電)

印度內地 時風吹く

廿八日入電=印度內地は前週に入りてより時風(五月末より九月の中頃迄印度洋より吹く印度洋の時風)を表はし居れり(大阪特電)

廣島輜重隊 背任事件か

廣島憲兵隊は二十八日來輜重兵第五大隊陸糧部篩鐵工長某を拉致し某一等軍曹外同部員十數名を召喚し秘密裡に取調べ居れり某隊長も憲兵隊へ出頭審議せり上長官に關聯する背任横領事件ならんか(大阪特電)

保稅倉庫雜穀大窃盜
=時價六萬四千圓 廿餘名共謀して

神戸元町七丁目若下豐吉は川崎稅關保稅倉庫內岸岡組の組頭なるが他の二十餘名と共謀落花生油、雜穀時價六萬四千圓を窃取兵庫署にて取調べらる(神戸電報)

備前織物燒く
損害八萬圓

廿八日午前零時四十分岡山縣御津郡伊島村備前織物株式會社火災燒失損害八萬圓也(岡山電報)

近江洗堰心中
指物職と娼妓

京都松原通り東山線西へ入る指物職原良一(二二)は宮川町貸座敷の娼妓夢路(二二)と江州洗堰にて心中せり(大津電報)

好司事を失うて
朝鮮銀行理事 片山繁雄氏談

香港にて客死せし鮮銀理事阿部讓氏に付同行理事片山繁雄氏は曰く私も鮮銀に入つて來たが少からず故阿部讓君に就ては多くを知らぬけれど要するに京大を出て十數年間銀行家として腕を鍛へ上げて來た少壯有爲の人物を失くしたのは家族の悲歎、友人として予等の哀惜の情は云ふまでもなく銀行としての損失は少なからぬもので實は圖報接手以來大に困つてゐる、予は渡鮮以前君と東京で二三回あつた、それから退任の際は君と同じ汽車でやつて來た、予が京城に着いてから ◆外國爲替會議 を五日許り開いた、三島大田兩理事事務局長課長主要店長も列し諸種外國爲替に關する意見を交換したがその際一席を占めてゐた君の意見は哈爾賓支店の創設にも當つた人だけ實務に明るく經驗に富み極めて ◆穩健で中庸 を失はず傾聽すべきものが多かつた、又事務に熱心な人らしい、又それを實行して行く丈けの手腕と頭腦を有してゐる人であつた、今回君を倫敦に派遣する事となつたのは鮮銀の倫敦に於て處理すべき任務が非常に多い、その處理を主として君に行つて貰ふためであつた、 ◆倫敦支店 を開くかどうかは未定の問題だが支店はなくとも歐洲の財界に常に注意を拂ひ外の行員を指揮し支店長式の事務を執つて貰ふためであつた、此の重要な使命を帶びた君が米國上陸匆々想像し難い横死を遂げるとは何たる慘事であらう返す〳〵も遺憾である年齒は働く三十九歳だつた、二十八日夜に二十七日香港に着いたと云ふ君の手紙が銀行について驚いてゐる、コレで見ると二十六日に君の死んだと云ふ報は虛報のやうだがコレは何か電信局の間違ひかホテルボーイが打電依賴か遅らしたかのためと思ふ、が恐らく君の發した最終の電報であらう

◇香港にて客死したる 阿部讓氏

添某方に忍び込み衣類十四點(百八十四圓)を窃取し京城に持ち來り入質又は賣却し更に實際にはなき馬淵義次郎なる人の ◆印鑑を 僞造し其の名義にて三百二十五圓と四百五十圓との二口の約手を僞造し孫て面識ある櫻井町二丁目の小池質屋より二百圓を借りて逃亡し此外釜山にては詐欺を働き龍山大塚某の名義にて ◆僞電を 發し物にせんとせしも成功せず新町遊廓大桝樓にては大風呂敷を擴げて百十餘圓の遊興をなして踏倒す等方々にて惡事を働きゐたる所を本町署の平林刑事に逮捕さる

再歸熱の流行
=一家擧つて罹病

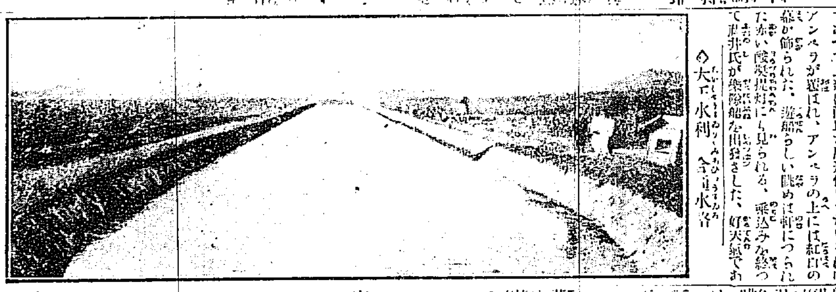
京城鍾路警察署管內にては昨今再歸熱流行し居るを警官の戸口調査に依りて發見せり二十六日受持警官が三淸洞百三十四番地金永址方に立寄りたるに十名の家人中 ▼九名迄 臥床して呻吟し其の症狀腸窒扶斯の如きより早速醫師警察醫檢診せしに全く再歸熱と判明し引續き同洞金永燮方にても五人の家族中四名罹病し居るを認めたるより三淸洞を初め附近各洞に亙り檢病的戸口調査を勵行せしに二十七日中に ▼十八名 の患者を發見し二十八日午前中にも約十名を發見するに至れり依つて鍾路署にては其の蔓延を防止する爲め防疫手當中なるが患者の死亡率は割合に少き模様なりと

雨中の水路下り
七里の通水路を

○―どんど、どんどとね― ○―鳴る瀬はどこよ、エーソレ―
雨傘、洋傘の集團が美裝した十餘艘に分乘して

◇大正水利 組合の竣工式に列席する官民の來賓はその式に花を添ゆる新妓組の綺妓と伴居、その他合せて彼是百數十名は二十七日午前九時半批峴驛にドヤ〳〵と下車して、寂しい寒村の小停車場を雜沓した驛前には未明から此の地に來て色々の斡旋に盡力せる藤井寬太郎氏等が鼠色の雨外套を甚く濡らして待つてゐた、雨は止め度もなく降る限りもない空から限りもなく濺ぐやうに降るイヤな雨だ、人々は藤井氏の先導により ◇批峴驛北 方一町のあたりに行つてそこから西方に流れてゐる水利組合通水路の幹線を府羅里の不二農場まで約七里餘、十餘艘の小舟に分乘し雨中を厭はず下ら

◇用水路は 古津江の水流を割きとつたもので、川幅約八間水深は普通三尺乃至五尺內外らしい何しろ落差勾配は回軍山のトンネルを別とし約六千分の一と云から殆んど小運河のやうなもので、水の流れは鳥渡認め難い位ゐ、その水路に酒と妓を載せて ◇七里の永さを下ら うと云ふのだから これが晴天なら可なり興趣の多い詩味の豐かなものに相違ない、惜しい哉、降り續く雨は興味の央ばを殺ぎ去つて雨傘や洋傘や膝掛けやで眺望すべき前方と左右を遮つたら―と離れも風の寒い淫雨らしい天氣を呪つたのであつた



◇大正水利 今日水路

うと云ふのであつた、雨傘と洋傘の大集團は通水路の堤防に徂ろしつた、藤井氏の配意により、船の大小に應じ十名或は二十名と漸次に乘り込んだ ◇親船とも目すべき 大形船には工藤長官や坂出技師や荻田局長や青木時永、兩課長が乘り込み、新聞記者の大部分と新義州の妓書五名も同乘した、その他の船にもそれ〴〵鮮人有志の方には妓生が割り當てられた、妓連は割り當てられた、辨當船も出來る、最先頭には洋樂隊の乘込んだ一艘が進む事になつて緩ひ流れに賑やかな奏樂を傳へて行く事になる

◎船は莫蓙 の上に座席設が敷いてあつて上部は簡單な屋形作りさなりそれにアンペラが覆はれ、アンペラの上には紅白の幕が飾られた、遊船らしい眺めは特につられた赤い酸漿提灯にも見られる、乘込み終つた藤井氏が樂隊船を出發さした、好天氣であ…雨、風を避くるの外はなかつた、藤井氏も吾々の乘つた船にやつて來て、『三分越しに發船せよ』と持ち前の大聲を出して命令する、と

◎青木課長 は『もう少しひついけたらよいでせう、賑やかで』と抗議を申込む『イヤ……トンネルに入ると衝突しますよ』と答へた『成程衝突して顛覆しちやね』青木氏は首を縮めて笑つた、何人も此の薄寒い日に入水させられては到底たまらないわいと思つた

◇そこいらの堤防は バカに高くて左右の展望は全くきかない、船が稍暫らく下つて後方を顧みると紅白の幔幕に覆はれ酸漿提灯を下げた二三艘の船が間隔をおいて續き、乘船場の前に建てられた水利組合のお祝ひの大アーチが雨中に繪の如く眺められた、堤防の青草も雨に洗はれて鮮やかに見ゆる

◎某氏の發 議で吾々の船の酸妓には既に三味を持たせ
どんどんどんどとね―鳴る瀬はどこよ、大正水利のエーソレ水の音アースチヤラチヤン
…長大坂金陵此經役山の諸氏…稍廿分も經つた頃…に來ましたよ』さかう藤井氏は注意した、成程下流を遠く山腹にトンネルらしい黑い穴が見へたつ〳〵」=一記者=

勤務書發布期
豫て警務總監部に於て審査中なりし朝鮮警察官の勤務上必要なる事項を編纂したる勤務書は六月一日頃發布施行さるべし

灯ともし頃
▲一兩日前京城市中を見物して歩いた石井柏亭畫伯は昌慶苑から左に…道に沿うてゐる土塀の模様などが奈良附近の景趣と似たところがあるといつてゐたさうである ▲又同氏の眼に映じた鮮國內では東小門附近も最も繪畫的で面白いさうだ ▲大連の通信によると…龍山步兵第七十八聯隊の某…『吾が聯隊こそ…』 ▲天勝一座の人氣者になつてる…妹子は三四年內地へ行つてる間に悉皆朝鮮語を忘れて終ひ親父さんが來ても話が出來ぬので弱つて居るさうだ ▲鮮銀の阿部讓氏が客死した香港で泊まつたパレスホテルと云ふのは香港一流の大ホテルで加州五大ホテルの一つでフエアモントホテルと同一會社の經營に係るものである ▲フエアモントホテルは丘の上にあつて…パレスホテルは香港の中心…最新式の堂々たるもので一昨年香港大博覽會…同部氏が…昇降機で…ホテルの昇降機の如き新式のもので…電力に依つて內部からでなくては出來ない…ボーイの不注意から…ある人見識道局長の話

商況

東京期米特電
二十九日前場 二限 二十五圓八十三錢

兵庫期米
二十九日前場 二限 東京付 二十六圓=〆八 二十六圓九十九錢

大阪三品特電
二十九日前場
五月限	三二、六〇五
六月限	三二、八四〇
七月限	三二、九〇五
八月限	三二、一三五
九月限	三二、一〇五
十月限	三二、一〇〇

大阪期米特電
二十九日前場 中限寄付 先限寄付 二五、八四 二五、七七

下關期米特電
二十九日前場 …小口落し氣樽へに…

雜報

綿糸は小戾す
大阪三品は…前場…三百二十六圓…

立直り現物多少氣配

龍レー十圓方引返
…五錢…

正米又高氣配
正米は…

鐵板市場頓打 錢高又々二十
鐵村厚板の市場…

錫價其後強硬

仁川正米

釜山穀物

仁川期米 二十九日前場 (保合)

白米小高し
下關相場

白米標準值 二十六圓三十錢

仁川米豆取引所
二十九日の七月限
二十二圓十五錢先二十二圓二十五錢と同事
寄付…

市場雜觀

北濱たより
大株と大新

▲大手筋は前途高と前途安

▲眼先持合乎

十 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話 長…
仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長七…番

晴一時曇り

仁川期米

二十九日後場 大阪前止め二十二圓六十錢の入電に先限二十二圓二十二錢と寄付十二二十錢一錢 [illegible]

北京に於ける議員視察團

衆議院乙組視察團一行は團長濱田國松氏以下十二名五月廿四日入京二十五日朝より段國務總理を始め要路の大官を訪問中なるが二十五日午後二時參議院に議長王揖唐氏及副議長那彥圖氏を訪問せり 寫眞は參議院に於ける一行にして中央の『◎』は團長濱田國松氏『×』は參議院議長王揖唐氏『△』は副議長那彥圖氏なり（北京）

泗川新塞の古戰蹟（四）

泗川の大捷と全戰線に對する効果

海軍中將　東郷吉太郎氏談

首級三萬八千有餘

唐兵供養塔と島津家の祭祀

又た唐兵供養塔は城趾の東方に見ゆます彼の方形の土壇上に碑を立てたもので斬首三萬八千餘級を首檢の後ち十五間四方の土を掘て之を埋め其の上に土饅頭の大きな塚を築いた然るに二十日程經て蛆が湧き出て塚を盛り崩したので更に三十間四方に掘り直して大きな塚を築き上げたものである今猶二十間の長さを存してゐる其の時陣僧をして祭らせ其の冥福を祈つた次第である島津家の家法として敵味方とも戰死者を其の儘に供養するのは其時初つたのでなく從來の法式である此の戰に於ける斬首の耳を名護屋に送り後ちに之を高野山に贈り供養塔を立てた世の所謂高野山の耳塚なるものは即ち之で京都の耳塚とは違ふ之は外の戰役のものである之れよりは義弘公の功蹟に付き大要を述んとす、泗川新塞の戰に就ては今回此の地に碑を立て史蹟保存地とせらるゝを機とし『泗川新塞戰捷之偉蹟』と云ふ編著をして置いたから近く印刷して各所へ送らうと思つてゐる故に此處は簡單に述べて置く

泗川新塞戰の價値

總括して此の戰役の功果を述ぶ

（一）義弘公の功績は我が日本の武威を海外に宣揚したるを首位とすべきこと（二）武威を海外に輝かしたる功績は泗川新塞の戰にあり諸將ヽ師を班すに付き最も其の功、之れに附隨し我が出征全部の日本兵を無事日本に歸還せしめ出征の多きは義弘公なること（三）泗川の大戰捷に依り蔚山方面の麻貴提督は撤退し順天の劉綎も退軍して中途に駐軍し進み得ず韓南の日本軍を引揚ぐるに際し更に水軍と戰ひ之を南海附近に殺し遂に追擊を免れ我が歸路の全軍を引揚ることを得たるは偏に義弘公の功に在り即ち泗川の陸戰、露梁津の海戰の功績は我が全軍を無事引揚げ得た主功なり（四）其の當時の感狀を見るに左の如し

今度於朝鮮國泗川表明軍數萬騎打果之[illegible]依之爲褒美薩州之內御藏入給人之分有次第可被宛行（五萬石餘り）[illegible]

とあり如斯く忠節を少將に代じ父子に名刀を贈り剩へ加增五萬石は當時に比類なき功賞にして壬辰の役に於て諸將中の勳功首位なること斯然たり、當時の捕縛小西行長の番船破りに對し一萬石加增藤堂高虎の番船切取に對し一萬石加增加藤嘉明の番船破り並に蔚山及び順天引退に加判せざりし覺悟と其の他の功を賞し與へたる加增は三萬七千石なり其の他は歸國後領地を增加すべき感狀に附したるものあるのみ（五）征韓の役中、蔚山、碧蹄館、新塞の戰を三大戰とす其の戰捷と云ひ其の功績の及ぼす結果と云ひ前述の感狀に見る如く勿論義弘公の功績を首位とす此を蔚山及碧蹄館の感狀に比較するに

蔚山戰の感狀　加藤清正

今度蔚山へ敵取籠候處其方懸入候故城中堅固相拘候段無比類働候[illegible]

碧蹄館の戰は小早川隆景及び立花宗茂の奮戰なるも對陣上兵多く日本の主隊は小早川隆景なり李如松と對戰し小早川の兵に敵に壓せられ稍行惱みのところに立花宗茂手兵を率ゐて横擊し遂に其の中堅を突き敵軍を潰亂せしむるに至りたるものなり故に其の擊破の戰功は立花宗茂を主位とす故に宗茂には特に感狀あり

碧蹄館　立花宗茂

第一感狀の內の誠に無比類働神妙思召候彌此砌可抽忠節肝要に候と云ひ

義弘公泗川新塞に於て明の大軍を擊破せらるゝや叡聽（後陽成天皇）に達し叡感斜ならず近衞龍山公之を義弘公父子に通せらる

近衞龍山公の御狀

[illegible]

十一月八日　龍山御判

斯くの如く此泗川新塞の戰捷は後陽成天皇の天聽に達し『叡感離レ申』とまで云はれた戰捷の記念地であると云ふとを以て講演の終結とする（完）

巡廻お伽講演開始

本社は地方愛讀者の御愛顧に酬ゆる爲め今回本社講演部宮山萩光氏を各地に派遣し巡廻お伽講演を開始する事となりました先づ左記の日割によつて京釜線湖南線から始めることゝなりました少年少女は申すに及ばずお父さんもお母さんもお爺さんもお婆さんもお聽き下さい入場料は無論有志の金品等寄贈は一切受けませぬ

巡回お伽講演日割

―京釜線―

▲水原　六月三日（午後三時より六時まで）
▲鳥致院　六月四日（同 午前十一時より九時まで）
▲清州　同日（午後より）
▲芙江　同日（午後七時より）
▲大田　六月五日（午前十一時より二時まで回）
▲永同　六月六日（午後二時より五時まで）
▲金泉　六月七日（正午前十一時より九時まで）
▲大邱　六月八日（同）
▲釜山　六月九日（午前十時より）
▲馬山　六月十日（午前十時より）
▲晋州　六月十一日（同）

―湖南線―

▲江景　六月十三日（正午前十時より午後十二時迄）
▲裡里　六月十四日（同）
▲全州　六月十五日（同）
▲井邑　六月十六日（同）
▲光州　六月十七日（同）
▲榮山浦　六月十八日（同）
▲木浦　六月十九日（同）
▲群山　六月二十日（午後より）
▲公州　六月廿一日（午後より）

愛讀者に酬ゆる爲

人馬老ゆ

―支那南北兩軍―

◆平和の期近しと傳へらる◆

北京政府の南伐計畫は初め湖南を平定し四川を攻略するに八箇月の時日と六千萬の軍費とを預算したりしも扨て愈々實行に入るや毎月七百五十萬元の豫算なりし軍費は殆んど倍額を要する有樣にて八箇月は愚か二箇月にして支持困難となり一方作戰の進行も軍費の不足を告ぐるや將卒漸く不平の色あり加ふるに張敬堯曹錕の反目日に甚しく呉佩孚の第二路軍依然湖南全省を風靡せん勢ありしも衡山衡陽を陷れ先づ其の面目を恢復し得たるもその歸京後は士氣振はず段總理は南下して漢口會議を開き携へ行きし數十萬の銀塊にて一時將卒の士氣を鼓舞し得たるも[illegible]諸將の辭意を抱くもの續出せる結果に外ならず二千萬圓の借款は已に千四百萬を交付し了り殘額六百萬を存するのみ而も此の一千四百萬は全部軍費として流用し了り殘額六百萬も五月末を以て流用し去らるゝ事となり更に新借款の出來ざる限り上同借款を流用したる時は即ち北京政府の軍費盡くる秋にして財政部員の語る所に據れば最近二箇月間の中央對南軍費は毎月一千四百萬より一千五百萬に達しつゝあり而して此の軍費は鹽餘剩餘金六百萬元、關稅、印花稅、煙酒稅、官有財産の賣却を合し約二百萬元あり合計約八百萬元の收入を得之に八九百萬元の外債を合し僅かに支持し得る有樣なり而して此の外債は主として日本よりの借款なるに其の對日借款も甚だ悲觀され此の上尚ほ戰爭を繼續するに於いては結局財政は行詰ることゝなるべく財政部員は此の財政難を認めて責を免るゝの決心をなし居れりと故に段總理の南伐繼續するかを知るべし即ち中央財政は如何に窮乏に陷りつゝあるかを知るべし即ち更に新借款にして成立せざる以上中央軍費は今月を以て行詰る筈なり軍費の行詰るとき則ち戰爭繼續の不可能即ち平和の到來するときならざるべからず更に戰爭繼續の不可能は軍費問題のみならず段總理の態度是なり段總理は北軍の戰況に對し中央の諸將が焦慮する日本の援助を[illegible]後援のみ信頼すべからざるを感知し南伐費徴の望むべからざるとの意思確々なる事情百出せる爲め昨今漸く軟化し此際淡分の讓歩をなし平和を急ぐの有利なることを思ふに至り而も主戰派軍の意向[illegible]たりし張作霖氏さへ從前の意氣なく徐樹錚氏亦漢口に赴く際に於て人に語つて南伐の貫徹覺束なきを以てせりとの説あり、斯くの如く既に軍費の枯渇と厭戰なき隊が如何でか南伐繼續を遂行し得べきや且つ最近當電の結果李純、陳光遠氏は王占元氏等の長江督軍と聯盟し機を見て和議を進めんとし更に南北妥協を誘致するに力ある孫文の廣東落ちなるが其他最近張紹曾、王芝祥氏等の北京上海の間を往復し平和の運動に狂奔しつゝあるは注目に値あり聞く所に據れば中央は目下彼等をして何人を以て正式調停者に擧げんかを物色せしめつゝありと岑春煊氏か李純氏か梁士詒氏か何れにしても右三人の外に出でざるべし要するに軍費の枯渇と主戰督軍の軟化と馮派の暗中飛躍は遠からずして平和を齎さん機會に到達し居れり（京北）

兼二浦の地價低落

兼二浦に於ける地價は市街計畫の時は坪三十圓內外となりしが昨今漸次低落の氣味にて買手頗る少く[illegible]（兼二浦）

間島と木材

毎日五十臺乃至百臺の荷役を見るべき模樣なれば木材界の景氣極めて良好なり而して本年採木公司と筏夫との間に行惱みを生じゐたるが遠からず解決を見るべければ目下材木商間の活躍目覺しからん

間島産木材の朝鮮輸出は近時注目さるゝに至りしが大正六年中間島一般に亘り降雨量少なかりし結果河水を利用して流下せざるべからざる交通不便の地域に散在する木材は龍井村其他の間島市場に於ける需要をすら充す能はざるの程度にありしに拘らず尚ほ一萬七千圓の輸出ありて大正五年に比すれば約一萬七千圓を增加せり今間島に於ける時價一才を三錢とすれば約五十萬才の木材を輸出したる事となる交通不便の間島地方に於ては木材の如き重量且體積貨物の輸出は甚だ困難とする所なるも將來交通機關の整備せらるゝか間島木材の前途有望にして輸出品中重要な地位を占むるに至るべし（龍井）

對日新借款

支那政府は直隸の某炭礦を抵當として前中日實業公司專務森恪氏との間に二千萬圓の借款交渉中なりしが目下同炭礦に赴き調査中なり（北京）

雨と筏

―追々盛況―

近來安東縣にては降雨多く癸十日除は晴天の日尠く毎日多少の降雨を見る有樣なるを以て鴨綠江上流方面は相當の降雨ありて鴨江の增水五尺除に及び爲めに流筏に好都合となり既に廿三日頃迄の着筏數四百餘臺の多きに及べるが尙は[illegible]

◎鐵嶺浪速小荷物取扱　從來簡易驛として東元線鐵嶺浪速兩驛は貨物のみ取扱ひしが來る六月一日より大小荷物の取扱を開始することゝなれり

ニヤンニヤン祭

日本の神樂祭の樣なもの

支那では一年に一度娘々廟（ニヤンニヤン）の大祭といふ年中行事が催されます。それは來る六月五日（陰曆五月二十七日）に行はれます、此の日は我國に於ける縁日の樣に支那婦人の參詣が多いので頗る賑やかであります、而して此のニヤンニヤン廟は吉林にありますから吉長鐵道局では六月一日より四日間長春吉林間の旅客賃金を半額に割引し又た長春郵便所ではニヤンニヤン祭當日休業するさうであります（吉林）

逃亡兵多し

◆甚だしきは賊徒の群に投じ或は南方派に走る◆

奉天張督軍の旗下の軍隊にては最近に賊徒討伐に向ひたる兵士中逃亡者頻々として生じ中には賊徒の群れに投ずるもの或は南方派に走る者等續出し最近に於ても歩青貴等二十四名一時に逃亡せる等の爲め督軍は同管下各師團及び巡防隊に夫々通牒を發して是れ等逃亡したる者を捕縛せしめ嚴重に處分すべく命じ嚴に戒飭したり（安東縣）

安全確實の利殖法

◇三百圓で千八百圓の利殖

―此の期間僅か三ヶ月間―事實が之れを證明する―

▽有價證券利用利殖秘訣公開△

金の出來ない人に質問して見たい、『貴君は金利の計算を御存じですか』と、世間も御覧なさい、金持になる程の人は必ず金利の觀念が強いが、金の出來ない人に限つて、キツと、金利の觀念が乏しい。よく考へて見ると、金利ぐらゐ恐ろしいものは無い、百圓の金を銀行の定期預金（年五分）に預けて置いただけでは、三十年目に四百三十二圓十九錢、五十年目に千百四十六圓七十四錢にしか成らないけれど、同じ百圓の資金を、年二割に運用すれば[illegible]五十年目には實に九十一萬〇千七十八錢になるのである。金利の説明は判つた、成程年二割に廻して行けば、小資本の者でも忽ち

◇一厘の　金持に成ることが出來る、併し理屈はさうだが、實際に年二割に金を廻して行くことが出來るだらうか、出來ますとも、併も月給取なら、その月給を取り乍ら、商人なら自分の商賣をやりながら、職業の何たるを問はず自己の本業を勵みつゝ、その片手間に年二割どころか、三割にも四割にも、時によつては五割六割、十割にも廻すことが出來る方法がある、それは何であるか、有價證券（主として株券）の賣買である。諸君は今日まで、此方法を知らなかつたが爲め金持に成れなかつたのである。三井、岩崎、安田、大倉などは

◇富豪は　恐らく此方法を知つて居たから、あの富を作り得たのである。諸君と三井、岩崎の財産の差額は、此方法を『知つて居る』のと『知らぬ』の差である。そこで同じ有價證券でも、公債や社債などでは高々七八分の利子が取れるばかりだが、株券だと配當金が取れた上に、値段が出來るから、利益が非常に大きくなる、即ち資本と利子と兩方で殖えて行くのである。例へば郵船會社の新株を昨年十月二十五日に一株百八十一圓出して買つて置くと、前期の配當金（拂込額に對する年五割）を取つた上に、今年二月二日、三百六十圓九十錢といふ値の出た時に、これを轉賣すれば僅か三月と二日間に、百八十一圓の資金で百七十九圓九十錢の利益を得られたのである。即ち元金と利子と兩方で儲けて居るから、非常な增殖ではないか。この割合で同株を十株買つて置けば、一千七百九十九圓の儲けになり、百株買つて置けば、實に一萬七千九百九十圓の儲けになつて居る。更にこの場合一株百八十一圓出さなくとも

◇三十圓の手附金で買つて置くことが出來る方法がある。十株なら三百圓出せば、現株を買つて置くのと同樣に買占めて置くことが出來るのだから、利益は矢張り一千七百九十九圓である。三百圓の資本で三月の間に一千七百九十九圓の利益とは何だか夢のやうな話だが、陰より證據事實がこれを證明して居るのだから仕方がない。諸君こんな面白い金儲けが、株券の賣買以外に有りますか、有つたら教へて戴き度い、けれど恐らくあるまい、他にある筈が無いのである。以上はホンの一例に過ぎぬが、其他の會社の株券なら、如何なる株であつても大抵一株四五圓から廿圓內外の手付金で買つて置けるのだから、少し上手に選りさへすれば、僅の資本で前例よりももつと大きく利益が得られる。

◇手附金を打つて買つて置いた株券の値が、思つた通り上れば非常な利益を得られることは分つたが、常に柳の下に鰌が居るとは定つてゐない、若し反對に下落したらドウするかと云ふ疑問が起るだらう。斯かる場合には現株を引取つて置き、銀行の利子よりも遙かに好い利廻りになる配當金を取りつゝ時期の來るのを待つて値の高くなつた時賣れば、亦非常の大利益を得られる。株の値段の上つたり下つたりするのは、恰度濱邊へ打寄する波のやうなもので、一年の間には幾度も幾度も上つたり下つたりするから、その機會はいくらも來る、斯くすれば株券を買つて値段が思ふやうに上らなかつた時でも

◇銀行に　預金した以上の利益がある譯より寧ろ現在一流の株券が何れも平均一割二三分以上の利廻りになつて居る、故に銀行から金を借りて株券を買つても尚且つ六七分の利が取れる譯である、此點が株券賣買の非常な强味である、例へば石炭だとか、生絲、綿絲、米などの商品ではトテも斯んな譯には行かぬ、いばかりで無く品物の質は惡くなる、倉敷はかゝるで、持つて居れば居る程損失が加はるが、株券はそれと正反對である。土地や家屋なら地代だの家賃だのが取れるから一寸株券と同じやうな利益な點はあるが、金が入用で直ぐ賣り度いと云つても急には賣れず、又賣る場合には安く踏み倒されるものだが

◇株券は　取引所で毎日必ず取引があるから、そんな心配はない。それから手附金で買つた株が反對に下落した場合に現株を引取るにはそれ丈けの資本が要るが、强て現株を引取らずとも『乘換』『難平』『ドテン』等の方法を利用すれば、如何に下落しようとも少しも損失なきのみか、却つて下落して呉れたお蔭で、大利益を得ることが出來るのである。斯う云つたばかりでは未だ分らないだらうが、この説明は本社研究會發行の『致富秘義錄』に、誰にもよく分るやうに詳しく書てある。現に昨年來

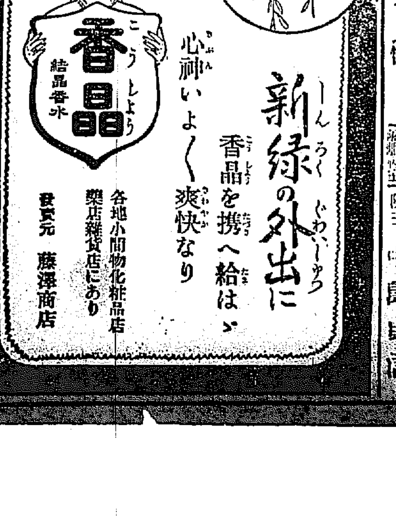
◇本社を　信じ本社の會員となつて株券を買つた方々の中には儲けた人が澤山あつて、その證狀は積んで山をなす盛況である。若し疑ふ人あらば本社へ來て實見すれば分ることである、但しものを選ばねばならぬ、されば下らな株券を買ふにも確實なもの、儲けの多い株を買つたらよいか、買ふ手續きは如何するものか、又手附金で買ふ方法は如何か、夫等の事も總て誰にも分るやうに詳しく本社發行の『致富秘義錄』に書てある、希望の方は先づハガキで東京市神田區一ツ橋通町八株式會社富强世界社『有價證券研究會規則送れ』と申込まれよ、無代で進呈する。

京城　痔疾專門　入院隨意　京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二一〇二番）　久枝肛門病院

外科　皮膚科　瀬戸醫院　京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番　醫學士　瀬戸潔　（診察夜九時迄）

專賣特許　宮崎式ペーチカ　説明書送呈　ペーチカ築設專門　龍山　大連　奉天　維新　成興　平壤　宮崎組

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）電話二六〇〇番 一八番　酒井婦人病院　院長　酒井一郎



京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番　內科　小兒科　入院隨意　チアテルミー科　中島醫院　院主　中島貞言

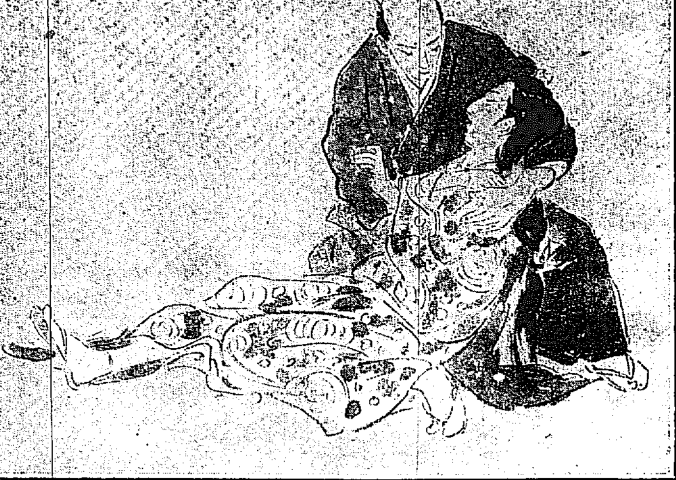
[illegible]

塚原卜傳

第九十席

悟道軒圓玉口演

右の武士が白妙を抱起して初めて其顔を見るとブッと愕ろいた、白妙も同じく男の顔を見ると倒る〻ばかり愕ろいたのも無理ではない之れ別人ならず京極主水でありますから 白『貴方は主水樣ではございませんか……』 主『さういふ御身は白妙殿か、室町御所の奥深く時めき給ふ御身なるに、今頃何で斯樣な所へ……』 白『さア其れには深い仔細のあること、何は兎もあれ貴方に取つては、弟御の仇、また妾に取れば惡人ながら義兄の仇、殊に勝負を望みたけれど何といふても女子の纖弱さ、潔よく覺悟を定めましたからどうぞ御手に懸けて存分に恨みをお晴らし下さるやうに……』 主『成程流石は將軍の愛妾白妙殿ほどあつて男子も及ばぬ覺悟恐入つた、さりながら見受るところ御所を忍び出られし樣子何か仔細のあることならん、若し追手の者が來らば何かの障り、討つ討たるゝは後の事にして少しも早く此所を立去るが宜い、それにお出になるは御姉妹御でござるかして御姉妹の行先きは……』 白『ハイ山科の興正寺へ志して參ります』 主『興正寺なれば之れより道程も遠からず拙者がお送り申して進ぜよう』 白『有難う存じます』と喜ぶ姉、妹は何も辨へずに親切な方と思ひまして共に喜こぶ、主水は白妙の手を執つて肩に懸け、妹お伊登を連れて足に任して參りました山科、興正寺へ來つて夜中ながら門を叩き案内を賴む、門番が不承々々に扉を開けて 門『今時分お前さん方は何處から來なすつた、用があるなら晝間來れば宜いに……』 主『イヤ仔細あつて急に上人にお目通りしたい取次いで吳れ』仕方がないから門番から役僧へ此由を通じる、聽て役僧から承はつて頭導上人玄關先まで出でられ、見ると若い男が女二人連れて來て居る、役僧は變な顔して、墮落にしては女二人は變だが殊に依つたら女房と妾で、遣切れなくなつて夜逃げをして來たのではないかと詰まらない事を考へて居ります、上人不圖女の顔を見ると先日罪を問ひに來た室町將軍の妾、白妙でありますから之れには何か仔細のある事と思ひ 頭『まアお上り……』と先へ立つて客殿へ導びく、三人は上り座を拂つて上人の跡に隨がつて客殿へ通る短檠に灯を點じて一同の僧を遠ざけ 頭『さて其れなる御婦人は先日來寺ありし白妙殿跡の女性は誰人か存ぜんが打見た處瓜を二つの面差、妹御でもござらうか、また御邊は何國の何と仰せらるゝ御人なるか夜陰の來訪御用事は何事でござる』 主水恭しく一禮して 主『大上人には初めまして尊顔を拜し奉つります、拙者は室町殿の家人にて京極主水秀房と申す者……』 頭『ウム偖は過日白妙殿の物語りにて承はり及ぶ京極主水殿とは貴殿の事かして申さば仇同志といつて然るべき白妙殿と連立つて來寺せられしは……』 白『御不審は御尤もでございますが實は妾が先日御上人樣より御敎化を受け。世を儚なみました處へ亦々義兄宮越左内が横死を遂げ其悲しみに引續へ眞實の妹に廻り合ひ、世の喜怒哀樂を僅かの日の中に悉く味はひ往昔健禮門院の仰せられた六道の現形を目の前に見たやうにも覺ねまして愈々大悲の救ひな得たく、密かに御所を脫出しまして、妹と共に御寺へ參りまする途中癪に苦しみ息も絕ゆる處を主水樣の御介抱に預り、恩も恨らみも後の事として一先づ御寺へ伺ひました次第で……』と委細の話しをいたしまする、頭導上人聞いて 頭『ハヽア佛家に奇遇を說くは玆の事、仇と見ねしは我を導く善知識、悟りの前には恩怨無二と御佛は仰せられた、何と白妙殿主水殿兄弟は御身のためには大知識でござらうな』



五月卅一日九星

舊四月廿二日戊寅 本命四綠 暦納先勝

▲四綠● 無理な頼みを受けんさず注意 ▲五黃● あささき見ずの事 ▲六白● 平運の日可もなし不可もなし新事手控 ▲七赤● ▲八白● 甘し辛しの事有り日新事手控往事は吉 ▲九紫● 好況の日 ▲一白 大當りの日 ▲二黑 ▲三碧 公明盛大の日 [illegible]

「飛行機や自動車の」「把手握る男も及ぬ」美人の操縱術

飛行機乗りでは世界の衆望を一身に集めたスミス自働車では華族の令嬢と情死した運轉士でも美人の操縱術に遇ふては如何に石部金吉金兜も及ばぬされど若し操縱の白矢を立てられた男に●●●●があつたら其美人は如何許り失望する事であらう同時に又男子の不面目わきが●●●此の上無しで實にわきが●●●は總ての事に障害ずる強敵である、わきがのある人は一刻も早くお治しなさい本療法では有名なる本郷順天堂に於て藥化學を應用し苦心研究の結果發表された自宅療法を行へば多年の難症も煩悶を忘る有効の寳藥●見限り●ハガキで東京●本郷區砂町本郷順天堂へ申込めよ治療法の秘密に無料詳細通知さる

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理部

○當る二十四日より番組提供 △米國キーストン會社作 ○滑稽『デブ君の罰燒』全二卷 △丁抹ノンマルク會社傑作 ○泰西活劇『焰の扉』五千呎 △山本、秋月大合同劇 ○新派悲活劇『蚊やり火』全四卷 ○舊劇『揚卷助六』全三卷 [illegible]

有樂館 活動寫眞常設館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番

○當る五月二十五日より公開 文藝寫眞と怪談、活劇 ▲米國ユニヴァーサル會社 週報 第五十一號 ○大活劇『山賊と貴婦人』全三卷 ○狐兒物語『一滴の水』全五卷 ○怪談『本郷小町』全四卷 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番

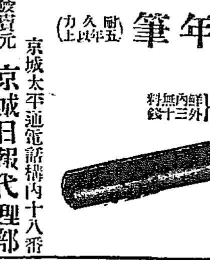
△五月二十五日より開演 ○東京浪界の雛形兒 ○東都浪界青年派 (合同競演會) ▲前座 ▲義士傳(若虎) ▲幡隨院長兵衛 ▲乃木將軍 ▲村上喜劍 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番

黃金館出張 當る五月二十四日より提供 ▲喜劇『鬼小島彌太郎』 ▲連續『ミラの秘密』全三十一卷 [illegible]

▲廣告▼

素人を短期養成し成功の途を授く 本校外生 本科生 專科生 募集 大阪分校新設紀念特典として莫大の收入を得る必ず規則を請求せよ 技師販賣員 東京京橋南紺屋町 自動車學校



稻麥扱 東京本所長崎町十六 日本發明研究所 [illegible]

軍馬拂下廣告 一軍馬 八頭 右競賣ス買受希望者ハ六月一日午前九時印鑑携帶出頭ノコト 京城憲兵隊本部

謹告 安東木材合名會社 業務擔當社員 三浦勇太郎 私儀 [illegible] 大正七年五月 安東縣一丁目三浦材木店主 三浦勇次郎

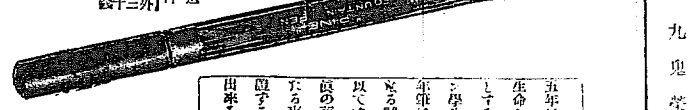
發芽保險附 桑種子販賣 御一報次第値段通知仕り候 金牌受領大正七年式 西上式葉摘器 一個四錢送料二錢 福山市吉津坂 西上種苗園

山縣五十雄・村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇〇番 日報社代理部

川魚一式 本日より仕出仕候 京城旭町一丁目電話二〇四六 會席御料理 權平庵 中井ゆく

大連燒酎 一度試みて御覽ん 外の燒酎は飲めなくなります 大連燒酎製造所 九鬼榮助

パイソン(學生號)萬年筆 (耐久五ヶ年以上) 金貳圓八拾錢 送料 鮮內無料 外三十錢



五年以上の生命を前提とするパイソン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも良の萬年筆たる事を立證する事が出來る

發賣元 京城太平通電話構內十八番 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

にきびとり **美顔水**

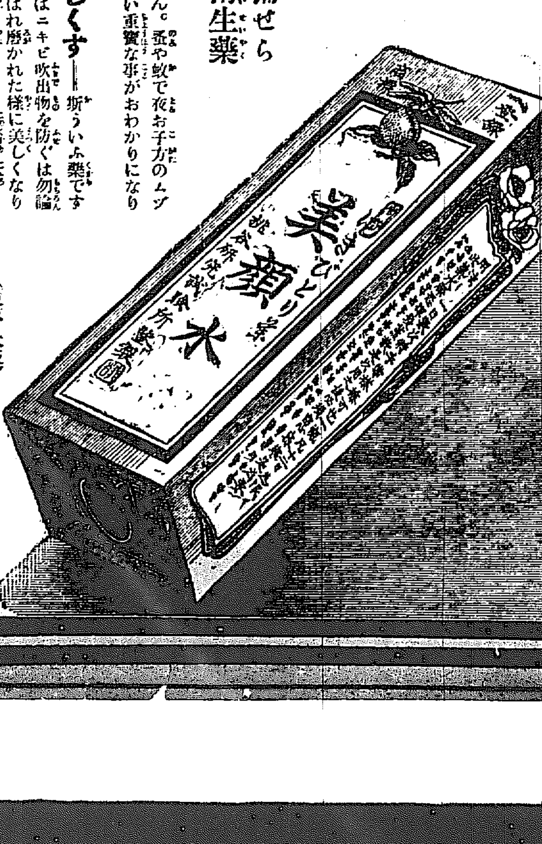
心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衞生藥

(一)ニキビ、吹出物—婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

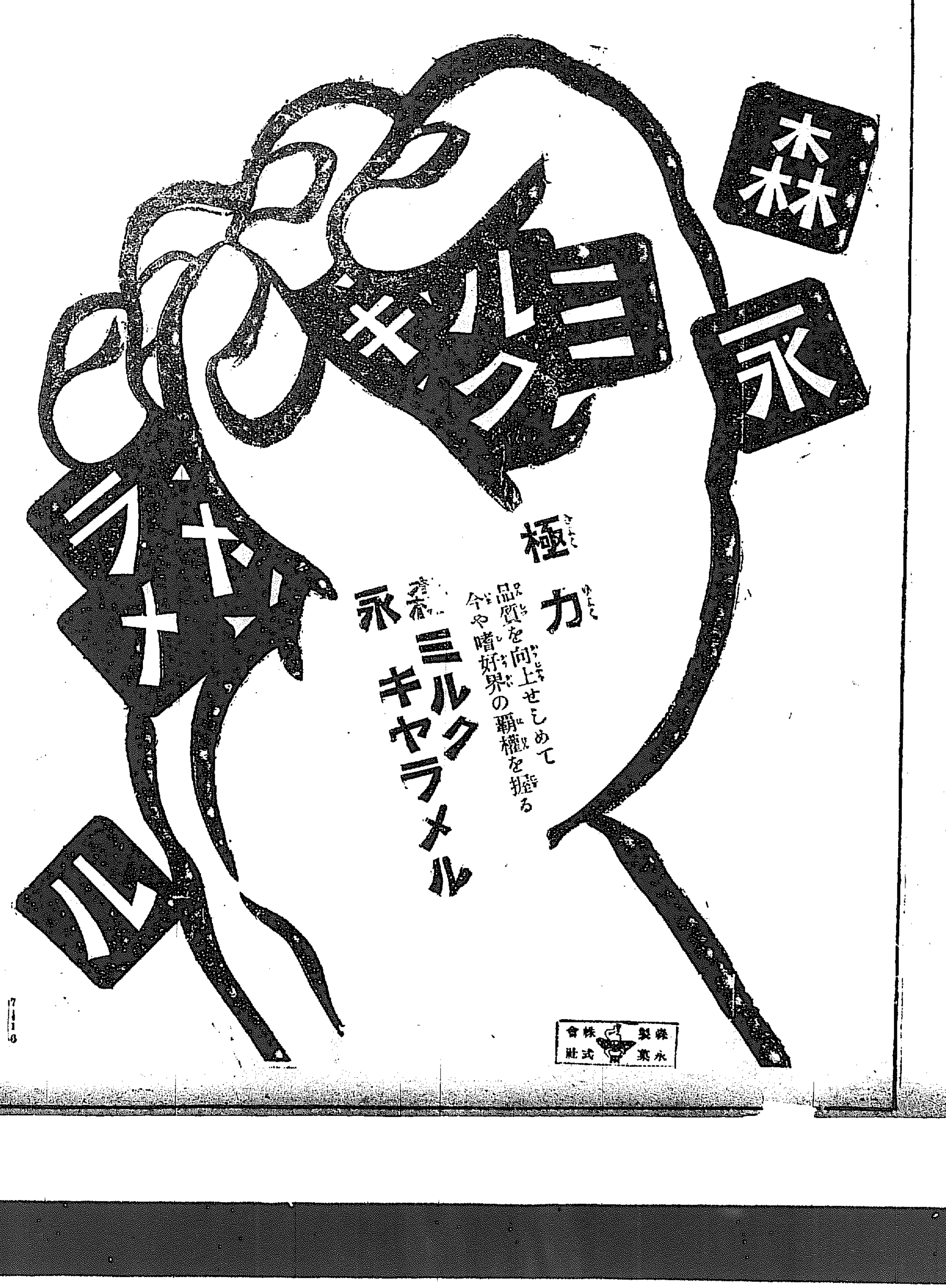
(二)蚤、蚊、南京虫—其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺えず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寳な事がおわかりになります。

(三)皮膚を美しくす—斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた様に美しくなり容貌の美を増す力が強いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります。

(定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢)



發賣元 (東京・大阪) 桃谷順天館



汽車時間表

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行) [illegible]

京城日報
三十日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 印刷人 小川三之介

獨逸の産業並に商權擴張策（九）

賀田直治

農民政策（三）

[illegible]の千九百十三年伯林農業[illegible]の演說に曰く『獨逸の農業は[illegible]人全體を養はざるべからず[illegible]ことを得るなり』[illegible]ドルフ將軍曰く『獨逸農業の崩壞する日こそ即ち獨逸帝國の一發の彈丸を要せずして崩壞するの日[illegible]』ビューロー公曰く『農業の[illegible]らざるのみならず國家的經濟的見地より觀て必[illegible]的見地より觀ても亦現狀に放棄することを許さず』[illegible]の如き方針なるを以て商工業[illegible]民の爲めも、第十九世紀の初葉八[illegible]の農民を有したる獨逸が現在に[illegible]に減少したるに拘はらず、[illegible]十億圓、[illegible]二十億圓[illegible]に於ける[illegible]は能く之に堪へ[illegible]つて船舶の便に依りて自由なる[illegible]く見做されし英、佛に於て之が缺乏を感ずること急にして、英首相ロイドジョージをして從來の食料政策の失敗に就て後悔せしめたること洵に故ありと云ふべし。即ちジョージ首相最近の施政演說中に曰く『從來の我が農業政策は全く眠り居りし爲め食料問題の如き大問題を惹起するに至れり。されば我邦の將來は如何にしても之が自給の策を講せざるべからず、故に公園其他娛樂の爲めの土地を此の農業の爲めに割くも之れ亦止むを得ざる所なり。從來の如く穀物の廉價なる爲め生產不可能と言へば政府は穀物の最低價格を保證するも可なりと』

試に英、獨兩國に於ける穀物の生產高を比較するに獨逸に於ける各種穀物の一人に對して四百二十吉瓦なるに對し、英國は僅に四十吉瓦に過ぎず、馬鈴薯は獨逸七百四十吉瓦に對し、英國は百四十吉瓦、砂糖は獨逸三十四吉瓦に對し英國は皆無なるが如く、總じて獨逸農業は九箇月の食料を自給するに對し英國は僅に三箇月を支ふるに過ぎざるなり。特に獨逸は戰爭開始以來國民は勵まし老幼婦女子を働かしめ各戶の庭先又は公園を[illegible]して全部馬鈴薯の植付をなさしめ平素の粗食的生活慣習を善用して食物の節約を圖らしめしを以て最も窮迫すべき獨逸は却つて食料の缺乏を感ぜず、今や更に露國と講和して最も食料の豐富なる波蘭及び小露西亞を獨逸の勢力下に置きしが如き、如何に軍備と糧食との關係に注意せるかを認むるを得べし。尚獨逸國に於て森林の如き長期永遠的の施業を實行する氣風あるは、如何に國民の堅忍にして根底的なるかを實證すべし。以上の如く獨逸は產業政策の方針を商工立國と農業立國の並立となし一方國本を培養しながら盛に工業生產品を以て海外販出に邁進するに就き政府並に人民の協力が如何に目覺ましきものあるかを觀察するを要す又獨逸產業の基礎は依然家族制にして儉約の美風も亦他に冠たり從つて男子の强き如く女子は最も實用的女性にして結局獨逸產業勃興の一要素となれり此の問題を詳說すれば一卷の大冊子を要すべきも[illegible]依り予は單純に其の要項のみを叙述するに止むべし

如く更に之を列擧すれば最近に於ける獨逸工業の勃興は左の如し

一、第十九世紀初葉以後の覺醒と普佛戰爭に依る軍隊的團結力の餘響と償金とに依る企業の勃興

二、國民の性能が工業に適當することを動機とす

こと即ち學術研究的にして應用に勇斷且剛健にして規律的に且つ堅忍不撓なること

大學又は工業學校の實驗室が當業者の應用所となり現に大學と高等工業學校は十一箇校にて一萬二千の生徒を有し年々卒業する三千の高等教育程度の青年技術家が薄給又は見習的に實地の工場に入りて研究し互に競爭して技術の向上を計ること（此外程度低き工業學校の卒業生は多數なり）

三、天然が農業上の天惠を有せざるも工業には石炭の豐富なる資源あり化學工業には獨特の發達をなしたること只冶金の進步に對し鐵鑛の比較的自國內に缺乏するを遺憾とするも夙に原產地を海外に獲得するに努めたること電氣の發達に精力を集注せること

四、器械の應用に長所を有し其結果大量生產と類序生產との工程[illegible]を執りたること

五、廉價にして實用的なる製品を多量且つ統一的に生產したる事

六、職工制度に成功せること

每年の人口增加は八十萬乃至百萬人餘の移民を海外に送りしも斷然之を減じ目下は其の十分の一に二十五年以前には每年二十萬人位に留め更に每年即ち年二萬人以上の勞働者を臨時スラヴ其他より輸入したること、

七十萬人以上の勞働者を臨時

國家社會主義の見地より職工保護及び能率の增加を圖りたること

七、生產過剩は物に依りて國內需要を差引き輸出を爲すべきもの七割以上にも達するあり於是海外販路擴張の必要は實際上最大急務となりたること

八、海外輸出に對しては商權の擴張策を擧國一致に奮鬪する必要に迫りしこと

母の改良（三）

法學士 李範昇

○[illegible]叉は賤陋に走るが母の改良に就き目下の朝鮮婚姻慣習を極めて簡短に批評しようと思ふ。結婚は人生の最大問題である或る方面より見れば人生の根本問題であるかも知れぬ。然るに只舊慣の奴隸となりて其より生ずる幾多の犧牲をも罪惡をも顧みず延いては國家を禍ひしつゝ尚其の改革を試みないのは自から滅亡を望むものだ。結婚は慣習及び道德よりも愛が根本でであらねばならぬ、つまり夫婦は愛の旣に依つて成立するもので有た、慣習及び道德てふ鎖に縛られて恰も鐵の鎖の兩端に繫がるゝ囚人同樣な生活をしたからとて夫婦とは云へない。言ひ換ふれば愛なき夫婦は香氣のせぬ香水同樣、其香水たる資質は既に消失して居る、如何程立派に形體を備へても香水とは云ひ得まい。此の香氣のせぬ香水の如き夫婦は人形の夫婦と異る處果して幾何ぞや。

○然るに朝鮮には此の人形の夫婦が三月の節句でなくとも到處ウヂャ／＼して居る。而して其の悲慘な生活を堪へ忍ぶに苟が勝ち過ぎるから種々罪惡を釀し出づるが此れ誰れの罪だらうか。此れ社會の罪親の罪である。子の生まるゝを待ちかねて甚だしきに至りては胎兒、つまり生まるべき子が未だ男女の何れなるかを知らぬに結婚の約が申込まれてある。都合惡しくば兩方の子が共に男或は女なれば取消なしの破談に舉るがもし其の何れかが男と女なれば產聲を擧げ未だ臍の緒を切らない前に早や立派な赤兒夫婦が出來るわけである。

○斯の如きは稀れなるには相違ないが兎角幼兒の許嫁をなす親達は子の十四五歲になるを待つのが關の山、早速人形の結婚手續を濟まして無上に悅に入つて居る。丁度子供達が人形を弄ぶのと同樣だが此れは後日害がないだけ其れだけましだ。而も法定年齡前の早婚は立派な違法行爲である。斯の如き行爲をするものに限り好く舊慣を云爲するが此の舊慣の「二十而冠三十有室」など事は都合好く御忘れになつて居るから御目出度き限りだ。

○冀くば少し眼醒めよ。今は時代が遷ふ、時が遷ふ。飛行機や無線電話もはや古い二十世紀である。寒き冬は暮れはてゝ春も去り青葉薰る初夏である。寒中に著て好かりたボツの綿入れは早く脫捨てゝ心地好き裕衣かセルに衣更へをせよ。何故に籠に飼はれた小鳥が自然界に放されながら尚舊き巣の小さき籠に執著する愚を捨てないのだらう？。

我國民性の涵養（一）

槐翁

○日本國民性の、最も特徵とするものは、大和魂の所有者たる處のものは、であらう。詳言すれば、忠君愛國の精神と、祖先崇拜の美風とであるが、此の精神は、建國以來今日まで一貫して居るものであつて、吾人はまた、之れを無窮に傳へねばならぬ義務がある。

○然るに、國民性にも、時によつて、多少の消長がある。殊に外國文明の影響と、自國歷史の變遷と、自然狀態の變化とは、屢々時代の精神となつて、動もすれば、上下を貫いた國民性に、動搖を來すものである。即ち吾々在朝鮮の內地人の如きは、種々の異なりたる事情の爲めに、其の影響を蒙ることが頗る多い樣に思はれる。

○吾人は、曾て彼の渡米者が、何時の間にか、ヤンキー化して、忠君愛國、祖先崇拜の精神を、全然忘れて了ひ、而してそれ等の兩親に育てられた子供が、日本と云ふことを、全く頭に置かない人間に仕上げらるゝのを、いたく慨嘆するのを聞いたことがあるが、朝鮮に於ては、幸に在米の人程に影響を受けないにしても、所謂殖民地風の生活と習慣とに、染まりつゝある事は、事實とせねばならぬ。

○然るに、吾が在鮮の母國人は、新附民の指導啓發と云ふ大責務を雙肩に擔つて立たねばならぬ關係がある。而かも、其の國民性に動搖を來すならば、動もすれば、新附民の指導啓發者たる資格を、遂に失却するの杞憂はなからうか。繰り返して言ふが、我が國民性の特徵たる、忠君愛國の精神と、祖先崇拜の精神こそ、軈て新附民に對する、慈悲、世愛、教導の精神となるべきものであつて、若し此精神を忘却せば、そは祖先の德を損するのみならず、國家社會の爲に、一大危機と謂はねばならぬ。

○當局の配慮によりて、朝鮮は近時、著しく其の面目を革めて來た。石骨稜々たりし禿山には、青葉が繁つて來たのは、慶賀に堪へぬ。大和櫻は、十三道の隅々にまで、移植された。道路は改修されて、交通は至便となつた。種々の利源は開拓されて、不毛の地は、美田王土と化しつゝある。一國の氣候なり、風景なりが、一國の國民性に影響を及ぼす、深甚の關係を有するは、心理學者の認むる處であるが、此の一般の國民性に及ぼす影響の良好なるは、吾人の多言を要せない處であらう。

○然れども、吾人在鮮の內地人は、獨り當局にのみ依賴せず益々進んで、日本國民性の特徵と其の正路に對する、日本國民性の涵養とに努むることとの、國家の發展の上に、至重至大の問題であることを感ずるを以て、吾人は、此の際大方の諸君と共に、益々之が研究を試みたいと思ふ。

芳山懷古　浪華 淺田吉

蒙塵遺跡一傷情。想到延元淚欲傾。落日江山支半壁。腥風士氣壞長城。文章未頌中興業。劍戟而開南北爭。憑弔勤王諸將跡。英魂留在萬株櫻。（蒼堂曰詞氣雅正）

京友會飲席詩次韻　清灣 山田準

索居感知己。詩卷几筵間。歸夢迷京洛。浮生老海寰。棹歌春水澁。鶴意暮雲閒。安得追隨去。任從兩鬢斑。（蒼堂曰[illegible]）

讀蒼堂詩宗之樺太紀遊詩作　松濤 大塙耀孝

重作觀光萬里游。擲抔笑殺藏瀾舟。玲瓏月自神山湧。蒼茫潮逆馬島流。半夜鷄聲感慨。中天鶴唳欲生憂。知君起舞揮長劍。紫氣冲霄射斗牛。

[illegible]に付いて答申事項及び決議事項其勢は[illegible]地に於ける主要農産需要供給の大要左の如し

▲米 內地生産不足額は三百二[illegible]治三十[illegible]見ず最近大正四年[illegible]作饑きの場合にてすら尚ほ二百二萬石の生産不足を告ぐるの狀態

▲大豆 食用大豆の內地生産不足額は百九十五萬石なれど之れに大豆油粕、原料として[illegible]

▲消費力の增進 [illegible]

婦人畫報

附錄 ▲五月雨（美人畫）益田玉城筆 ▲たかねの花（原色版）丸山晩霞筆

◎近き將來に於ける日本婦人（三宅博士）

◎最初の女學校の思ひ出（叉木きく子）

◎最近婦人界の出來事（宮地友次郎）

◎新聞社の女事務員をして（本金子）

◎離乳後の食物の與へ方（太田博士）

◎男女の敎育（安井學監）

不良兒問題 高島教授 倉橋教授 坂口醫學部 富士川博士

◎大阪社交界の代表婦人（ひさの子）

◎貞明院に台臨の東伏見宮妃殿下 ◎篤志看護婦人會台臨の四妃殿下 ◎島津公爵邸に於ける二王子殿下

（長篇小說）須磨子 幽芳作 清方畫

女中に話して聞かせる事（三宅やす子）

投入花に規則なし（石井柴老）

六月の家庭園藝（伏木佐吉郎）

家 小波　美人傳 時雨

（長編小說）源氏車 渡邊霞亭

六月號 發行所 東京京橋區 東京社 振替四千九百番 全國賣捌書店

新演藝 六月號

▲掛彌の似顏繪（表紙油繪原色）田中良 ▲三代目菊五郎（ゴム版十色刷）芝居古畫 ▲帝劇の佛師物語（舞臺寫生）名取春仙 ▲歌舞伎座の奧州安達原 三色寫眞版 ▲市村座の瀧夜叉 三色寫眞版 ▲歌舞伎座の髮結新三 コロタイプ ▲京都南座のいつゝ雁金 コロタイプ

懸賞當選脚本二種

破天荒の芝居小說

▲五代目團十郎の技藝論……伊原青々園 ▲劇評家の今昔……關根默庵 ▲歌舞伎座初日評……久保田米齋 ▲妙見堂毛塚出來（みたまき）……林 孝 ▲米國の切符仲買……山本久三郎 ▲神萩と貞任の型……森 ほのほ ▲新鏡山と佛師物語……澤村宗之助 ▲六代目嵐璃寬……和氣乙烏 ▲璃寬の與名劇……內山佐平 ▲京都南座見物……相島思 ▲浪花演藝風聞錄……玉谷五三 ▲樂屋風呂……川尻清潭 ▲第二浮氣の味方……伊藤みはる ▲演藝白い黑い……町田博三 ▲敵役一手引受所……薛間房子

▲帝國劇場新鏡山（二色寫眞版）▲大阪中座中將姬（二色寫眞版）▲市村座毛塚山來（二面大寫眞）▲大阪中座の來山（二面大寫眞）

東西各座の五月狂言及び演藝界時事寫眞四十餘頁

評壇 佐藤三重三 伊藤郁雨 水島爾保布 吉岡鳥平

風流東人形……森ほのほ 再生……高田浩三 珊瑚屋……松居松葉 ＝本號より連載＝

一部定價四十五錢 ▲送料三錢五厘 ▲六部前金送料とも金二圓六十七錢

東京市芝公園九號地 振替東京一四一七七 玄文社

朝鮮鐵道旅行案內

南滿洲鐵道株式會社京城管理局編纂

地勢‖人口‖物産‖商況‖統計‖交通‖歷史‖名所‖古跡‖所在官廳‖銀行‖會社‖旅館等說明詳細を極め最近實測朝鮮全圖の外有名各驛附近地圖及最近の鮮麗なる寫眞挿入携帶至便 價亦低廉理想的案內書

寫眞圖地 七十三葉 頁數 七十 天金 布裝 定價 七十錢 送料 十六錢

京城本町 電話六八四 振替二〇五七三 二〇八六 大阪屋號

時計及蓄音器卸商

創業明治二十八年 京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電話一〇一五・振替京城七八二

易斷

高島易斷本部主事高島香明先生出張 受付午前八時より十一時まで午後三時より十時まで 場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話一五七二） 高島易斷本部 神易協會

商業登記公告

商號新設。商號 萬物商店、營業ノ種類 雜貨販賣、營業所 京城府寬勳洞七十四番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府水標町拾五番地 趙榮沃 右大正七年五月貳拾貳日登記

合資會社高橋農園無限責任社員高橋三代三郎ハ大正七年五月貳拾壹日其ノ持分金參千圓ヲ有限責任社員高橋章之助ニ讓渡シ退社シ高橋章之助ハ同日其ノ持分ヲ讓受ケ各社員ノ出資ノ價格ヲ金五千圓トシ[illegible]同日解散シ高橋章之助清算人ニ就任シタリ 右大正七年五月貳拾參日登記

支配人選任 京城府旭町貳丁目參拾番地 吉岡芳太郎 支配人ノ氏名住所 同所 渡邊光子 右大正七年五月貳拾四日登記

商號新設。商號 [illegible]、營業ノ種類 染料製造販賣、營業所 京城府[illegible]、商號使用者ノ氏名[illegible] 右大正七年五月貳拾七日登記

京城地方法院

法人登記公告

南陽地方金融組合登記事項中大正七年五月拾參日京畿道水原郡[illegible]組合長[illegible]就任 右大正七年五月貳拾五日登記

京城地方法院水原支廳

法人登記

楊口地方金融組合理事田村直己ハ任期滿了ニ付[illegible]楊口郡楊口面上里四番地[illegible] 右大正七年五月貳拾七日登記ス

京城地方法院楊口出張所

第廿二回決算報告

貸借對照表

資產之部	
拂込未濟資本金	六〇、〇〇〇・〇〇〇
預ケ金	壹、八九八・六八六
貸付金	壹八、參參八・參七〇
所有土地建物	參貳、四貳參・七七〇
什器	貳六八・貳六〇
金銀	貳、八六五・〇〇貳
假拂金	貳〇・〇〇〇
合計	壹壹五、八壹四・〇八八

負債之部	
資本金	壹〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金	五、八八貳・〇〇〇
借入金	貳、貳〇〇・〇〇〇
未拂配當金	四〇參・五〇〇
當半期純益金	貳、六九五・七〇〇
前半期繰越金	四、四參貳・八八八
假受金	貳〇〇・〇〇〇
合計	壹壹五、八壹四・〇八八

右之通ニ候也

大正七年三月三十一日

日韓殖產株式會社

日鮮會話精通

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著

袖珍總クロース類美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢

諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む

凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし

眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂

センプーキ

川北製 十二吋及十六吋（首振及固定型） 製品多數在庫

川北電氣企業社（本社資本金三百萬圓） 小倉出張所 九州小倉市島町 電話長一八六

家庭パン製法

忽六版 ◎七博士推薦 日本一安價生活法！ 米價半減 滋養絕大

東京市長 法學博士 子爵田尻稻次郎先生序 陸軍糧秣本廠 田邊玄平先生著

▲本書は田尻博士創案の玄米パン其の他を極めて平易に世に普及せしめんため公刊す ▲何人も[illegible]の十分の一の經費にて[illegible]營業者は勿論脚氣胃腸病患者の必讀すべき良著なり

發行所 東京神田表猿樂町十三番地 振替口座東京三七一四五番 大日本食料品研究所

◎此際購讀者に限りパン種五十斤分進呈 ▲クロース製美本一册金四十錢郵稅四錢

かや

ぬいめなし蚊帳 本濱蚊帳

夏座ふとん 暖簾 新荷著

京城本町 丸一綿雜貨部 電話一〇九一番・振替三六五番

八角鋼並ニ黑鉛用金網

建築金物土工用具一切 鑛山用金物製作販賣 地方御注文ハ迅速ニ御便宜御取計リ可申候

京城本町一丁目 直輸入商 佐野彥藏商店 電話百六十三番 振替京城一二〇番

○獨軍の新作戰觀

アミアン方面中央突破を試んとす

大攻撃既後鋭を蓄へ居たる獨軍は策動を開始したるもの、如し、エーヌ方面に向へる獨軍はソアソン、ランスの北方に於て既にシンヤンデダムの街道を横斷し、ヴアイ、ベリ、オバック間に十四哩を突破せるもの、如し他方に於てはイープルの西方約三哩の地點六〇高地の麓なるデックブッシュの東方にて激烈なる戰鬪持續せられあり斯く獨軍が從來の戰法と異なり同時に兩方面に向ひ猛襲を開始せる眞の意圖は知る可らざるも目下敵の兵力は西部戰線に於て聯合軍に比し約五十萬を超過し居れば右兩方面に攻撃を行ひ以てフォック將軍の總豫備軍を牽制し置き餘力を以て前回に於て突破せんとせるアミアン方面の中央突破を試みんとするに非ざるか＝某陸軍參謀談（東京特電）

○佛軍獨を撃退す

フランダース方面に於ける戰況

フランダース方面の戰鬪はデッケブルシュ（イープル西南三哩）六〇高地の西約五哩）の東方に集中され同方面にて獨軍は一時勝利を收めたるが後佛軍の爲めに撃退されたり又エイヌ及びフランダース方面に於ける獨軍攻勢に對する英佛軍の兵力は獨軍に比し遙に優勢なりと（倫敦電報）

○米國海軍案上院通過

米國上院は海軍案を通過せり總額十六億一千萬弗水兵部永久的定員十二萬一千人、戰時臨時定員十八萬一千人也、同案は直に兩院協議會に移されたり（紐育電報）

○小露西亞前農相大金拐帶

小露西亞政府の農務大臣たりしコバロスキーは五百萬留を拐帶して逃亡せり（倫敦電報）

○陸榮廷氏講和申込

陸榮廷氏は講和を申込み來れり是れに對し馮總統は個人名義を以て陸氏が中央の命令に從はヾ兵を引む可しと答電を發せり（北京特電）

○軍需局官制公布期

軍需工業動員法實施の結果內閣に新設さる可き軍需局の官制は閣議を經目下奏請中なるが多分來る一日官報にて公布施行さる可し局長には法制局參事官原象一郎氏任命さる可し（東京特電）

○印度銀塊昂騰

廿八日正金入電＝印度銀塊相場は前電より二十八ルピー方昂騰し百十二ルピー分の一となれり（大阪特電）

○有松長官出發

法制局長官兼拓殖局長官有松英義氏は拓殖局書記官を隨へ朝鮮及び支那滿洲視察の爲め廿九日午前八時半東京驛を出發せり（東京特電）

○日向輝武氏

前代議士日向輝武氏は二十八日午後二時夫人看護の下に大久保の病院にて逝去せり（東京特電）

○青木中將東上

支那駐在武官青木中將は二十八日上海より著連廿九日發の嘉義丸にて東上せり（大連特電）

○ハリス博士

ハリス博士は廿九日午前七時半安東發列車にて南下せり（安東縣特電）

○小林駐支財務官

支那駐在小林財務官は二十九日午後七時半著列車にて來安同八時半發列車にて北京へ向け直行す（安東縣特電）

○總督歸京

長谷川總督は平安北道管內巡察中の處一行は廿九日午後七時二十五分大門驛著列車にて歸京せり

○陸地綿發芽良好

朝鮮に於ける本年の陸地綿作は既に播種を終れるが其作付反別九萬四千町歩に達し播種前後及び發芽時期に於ける氣候潤適順なりし爲發芽狀況頗る良好なるが昨年は發芽前晴天打續きたる爲乾燥甚だしく種子の儘枯死せしもの多く又一昨年は發芽後降雨多かりし爲腐敗せるもの多く孰れも豫定の作付反別に對する收穫を見る能はざりしも本年は播種前後の狀況前記の如く良好なるを以て九萬四千町歩の播種反別は其儘發芽し今後氣候順當に經過せば成育の良好と共に昨年に比し約四割以上の增收を得るに至るべしと豫期せらる

○東拓對鮮糖 土地讓與問題解決す

朝鮮製糖株式會社建設用地として大同江對岸の土地使用の件につき當初以來所有主たる東洋拓殖株式會社との間に於て交渉中なりしが昨日兩會社の間に圓滿なる交渉成立し土地九十町歩を東拓より製糖會社に讓與する事に決定したり（平壤電話）

○韓銀問題落著

千賀間泳徽氏を頭取に戴ける韓一銀行は這回一部株主の間に銀行を擧げて某銀行と合併せんことを提唱するものあり許多の風說傳へられたるが其後合併問題を提議したる株主側よりは其提議を取消し又銀行當務者と某大株主間の株券買收に依り年來懸案となり居たりし事は曩きに閔頭取が之を買收するに至りたるを以て茲に同銀行に關する問題は全部落著となり一般の疑雲も一掃されたるを以て今後は益々基礎を鞏固にし漸次業務を擴張する筈なりと

○軍經理會議（第三日）

軍經理會議第三日は廿九日午前八時三十分より軍司令部會議室に於て開會事務打合せを爲し本會議を終了せり列席者一同は午後一時より京城工業專門學校參觀同三時より昌德宮を拜觀せるが午後六時より朝鮮ホテルにて開催の廣瀨軍經理部長招待晩餐會に出席せり

○七千餘町歩の灌漑

大正水利組合計畫の大要＝年間の利得百五十萬圓

組合長 藤井寬太郎氏

二十八日長谷川總督臨場竣工式を擧行せし全北大正水利組合は灌漑面積七千餘町歩に亙り本邦既設の斯業中地積の廣大なる點に於て首位に坐するものであるがその著手以來の經過並に計畫の大要に付組合長藤井寬太郎氏の談に曰く全北沃溝郡の南端萬頃江龍綫浦より萬頃江を經て梨木浦に達する一帶の▲廣漠たる平野は夙に有名の地にして米作の如き川水豐かなるの肥沃なる事全朝鮮中稀れに見る所の良土なりと雖も西面の一部を除きては水利なきため收穫極めて僅少に過ぎず渺茫たる沃野は空しく荒蕪の生ずるに委せり予が某鮮人の告知により實地に此の地方を視察してその有利なるを確知し事業著手の念を確く抱きたるは實に大正元年八月なり然るに本事業地の既墾田畓のみにては水路工費頗る巨額にして灌漑面積の獲得を以てしては到底事業の收支相償はず依って▲不二農場を起し五里の長堤を築きて海水を遮斷し四千町歩の干潟地及び草生地を拓き組合區域を七千餘町歩となす時は汎々たる干潟荒蕪地變じて美田となり正租三十五萬石の收穫を擧げ得べきを信じ斷然意を決して直ちに本事業の經營に著手せり隨って大正水利組合の組織を開始するに先だち先づ不二農場の工事を進め約七十萬圓を投じてその東西兩大堤延長約四里は大正四年末を以て殆んど完成し三千八百町歩の新地は全く海水とその境を分ちて組合用水の灌漑を待つに至れり此の如く不二農場の工事豫期の如く進捗せるを以て爾來大正水利組合の組織資金の調達工事の設計實施に幾多の困難と曲折を經たる結果當局官憲の指導と好意により大正三年十月三十日附にて▲組合の本認可を得又資金は大正五年五月末東洋拓殖會社より融通を受る事に決定し松山工學士監督の下に工事を施し昨秋に至り工事の完成を見たるものなるが事業の概要は不二農場干拓地四千町歩を主とし其他草生地及び既墾田乾畓水利乏しき畓等三千餘町歩總面積七千餘町歩に對し事業地の北方十里義州郡院洞なる古津江より水路を開鑿し同郡山に一千百間のトンネルを穿ち一秒間二百五十立方尺の用水を流下するものなるが水路の大幹線は十里十五丁支線九里十一丁分水溝七十一里に及び蒙利區域は沃川郡府雒面府內面東下面北中面及び外下面の五面三十五洞に亘り工費は約▲百五十萬圓を投じ居れる本組合による事業の利益は事業前の收穫籾及び稗六萬石此の價格百七十五萬圓なれど事業完成後は收穫籾三十五萬石此の價格百五十萬圓を差引一年の利得百五十萬圓の生產增加を見る斷定にて組合債償還の年賦一反歩當り負擔額は第一種甲干潟地三圓十三錢乙草地二圓八十八錢以下五等に分ち組合債償還方法は三年据置き十五箇年賦の元利均等償還となり居るが何れ事業完成後は更に組合の關係を利用し棉作耕地整理農事の改良緬羊飼育の製造副業の獎勵に力を致し▲寺內首相の組合に與へられし『興水利殷斯民』長谷川總督の『不舍晝夜』の題辭に對って負かざる決心なり

○鮮鐵豫算決算

鮮鐵京城管理局大正六年度決算は目下編成中の處一兩日中に成るべき由なるが七年度豫算に關しては去月上旬總督府に申請せしが右は既報の如く是れ亦一兩日中に認可の運に至る模樣なり

○大阪だより

▲組織變更と課稅

所得稅課稅輕減の爲め近來商人間に株式會社に組織變更を爲すもの多きが之は株式會社（株主二十一人以上）に對しては課稅率千分の七五なるに個人なる時は千分の三〇より三〇〇まで課せらるゝに由るものにして現行法は法人に對して低率に過ぐるの嫌あるを以て政府に於ても所得稅法を改正して個人と法人との差率を接近せしめん意向あると同時に斯の如きは寧ろ衆議院の提案として課稅標準の改正案提出さるべきものなりとて民間にて之を唱道するもの尠なからざれば來期議會に於て之が提案を見るに至るべく其結果は法人の稅率を引上げられ株式會社に變更したるものは又復個人組織に改變する如き滑稽を演ずべく旁今後單に課稅率の低下のみの爲に組織變更を爲すが如きは戒めざるべからざるなり

▲利得稅と大阪

戰時利得稅による歲入は三千八百萬圓の豫定なるが之が適用を受くるは主として株式會社に多く就中船舶業、鐵工業、紡績業等を最とし大阪に於ては大阪商船、原田汽船を筆頭に大阪鐵工所、谷造船所、鐵工業者等にして大阪のみにて約二千萬圓の課稅を見るべき豫定にて稅務署は目下施行細則につき考究を重ね居れば近く大體の方針を決定して一般に發表し利得稅を調査する由也

▲椎茸輸出旺盛

椎茸類は輸出方面益々旺盛にして最近支那市場の節句需要として十五日神戶積出のみにて五百五十櫃に上り近く十數日間に千三百櫃內外の輸出を見たり一方內地の出廻りは日々潤澤にて各地とも全く品揃への觀あるが產地側は依然强硬にて大阪の唱へ値と折合はず出廻りの多き割合に手合少き爲め高値を持續するとも金融の關係上買物漸次に現はれ低落を免かれざる狀況なりと

▲海苔類好景氣

乾海苔は造作にて本年一月初旬より各品とも非常の高値に飛び數年來見るを得ざる好景氣にて東京大判品は皆品切れ小判極上千枚十七圓上十五圓の空前の高値を現はし伊勢小判極上十五圓仙臺大判極上十四圓以て一般買人は頗る戒心し居れるが一面は原料不足の爲め生の儘賣行く限り各產地より東京方面へ荷捌きせられたるも造作の爲め目下入は平年の半數位に止り居れば特に極上品は原料海の爲め昂騰を免かれざるべく味付海苔は極上六十圓五十錢唱へなりと

▲絹織物强硬

絹織物は生糸騰貴を受けて氣配頗る高調にて冬物は夙々染色に著手したるが染料の騰貴と共に未曾有の高値にある夏物の如き狀況の餘勢を受けて需要增加を見越し冬物の好況を期待されたれるが果して如何にや秋期端境期には相當波瀾を呈するなるべしと（大阪支局）

○岡田博士入京

東京帝國大學教授醫學博士岡田和一郎氏は朝鮮醫學會總會に列席する爲め夫人同伴二十九日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに入れるが京城には五六日滯在すべし

○國語普及狀況

此程の調査に依る大正四年以降六年迄の全南道各面長及び面書記の內國語を解するものを聞くに面長は百八十八人の內會話に差支なきものは四年二十一人五年二十三人六年三十二人國文を讀み得るもの四年二十二人五年三十八人六年三十八人と漸時年を經る毎に增加し成績良好なるが今尙會話及び讀解の出來ざるもの百十六人あり面書記は現在會話に差支無きもの三百七十八人國文を解するもの百四十四人之も至つて良好の成績を示し居れり

○三宅醫學博士

既報の如く九州帝國大學教授醫學博士三宅速氏は三十日夜入京の由

○川田日銀局長入京

日本銀行國庫局長川田敬三氏は滿洲よりの歸途三十日午前八時南大門著列車にて入京の筈

○慶北共進會と出品

來る十月三十一日より十一月十九日迄二十日間大邱府に於て第二回慶北道物產共進會を開催すべく京城府內に於ける當業者に對し機械類、工產物、釀造品等の出品勸誘方を京城府に依囑あり出品希望者は六月二十日迄に出品物品名數量及陳列に要する面積等を京城府に申込まるべしと

○巨濟島漁況

昨今既に鯖漁期に入りたるも各所共に不漁にて漁業者等は何れも憂慮しつゝありしも過般數の島鷄島沖合に於て約十萬尾の鯖漁ありたるに又々巨濟島長承浦に於ては鯖五十萬尾（一尾五錢五厘）の漁獲あり更に去二十三日鯖七十萬尾（一尾四錢）の大漁あり巨濟島方面は俄に色めき立ち居れりと

人事消息

▲前田利爲侯 二十九日午後九時四十分北行
▲井上匡四郎博士 同上
▲高橋章之助氏（辯護士） 全州へ出張中の處二十九日夜歸京
▲西九曾三氏（大阪實業家） 廿九日夜入京天晴樓へ
▲齋藤金輔氏（忠北實業家） 同京城ホテルへ
▲篠井直三氏（小野田セメント會社長） 廿九日朝渡京
▲野手耐氏（釜山税關長） 同上

百聞百種

此頃讀心術の大家白國人ジョンといふ人が東京に來て居たが、なんでも百發百中外づれっこなしといふのださうな▲讀心は指頭、前額又は掌の接觸に依ると、全然接觸若くは媒介物を用ひないとの三つの方法があって、科學的作用から出來るものだといふことだ▲ジョン君は上海で三井物產社員が七千兩の金を盜まれたとき、讀心術を應用して見事に犯人を發見し、搜査係の役人を驚かしたが▲ジョン君は又『歐洲戰の終熄は來年七月、カイゼル父子は殺害さる、運命を有す』と豫言したさうだ▲東京に滯在中の張繼君は或人に誘はれて歌舞伎座に出懸け江戶城明渡しの場を見物したが、勝、西郷の兩雄が談笑の間に天下の大事を決したアノ大芝居に感動して滂沱たる有樣であつたといふ▲身を以て國に許せる張君の涙は徹に同情に堪へないが、支那の樣に纏足がゴテついて居てはダメだ、氣の毒だが脚本の筋が分らないから本讀みにもかゝれないぢやないかと或支那通は語つて居た

○東京より

[illegible]

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編 改定增補第四版 定價一圓 郵稅八錢

朝鮮不動產商業登記申請書式心得

本書中不動產登記の部には土地調査に關聯せる不動產登記法に依る申請書式、官公署の證明書、登記に關する土地表示事項に關する證明書、契約書、印鑑屆、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲げ又商業登記の部には法定代理人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載せり

發行所 京城太平通二丁目 電話三六番 振替京城一一八番 京城日報代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂

桑種
◎京產地へ社員出張、精選種製造中なり
◎六月初著荷値段御照會願上候
京畿道水原停車場前 株式會社 富國園 電話一三八番 振替口座二五三番

淑女畫報 六月號 定價 東京本町 博文館
本文 口繪 大阪將校婦人界の三花形 日比谷の二總會 佐々木博士夫婦の竹柏會 京阪閨秀畫家の面影 令孃發心の動機 跡見女學校先生評判 歷史小說 白縫姬 鈴木彌生 家庭小說 光の門 小栗風葉

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意
醫學士 齋 勇
醫士 齋 豐次
京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇一二番
大和病院

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話 振替口座
特價御斷り

商業登記
京城地方法院開城支廳
大正七年五月貳拾八日登記

法人登記公告
京城地方法院原州支廳

朝鮮製紙株式會社
株式名義書換停止 自六月一日定時總會終了迄

確實な時計は 平井時計舖

御鎖、帶メ 寶石入指環 櫛、笄、簪、根掛 一式品揃申候 京城本町一丁目 電話 振替京城

桑新種子販賣
一純魯桑種子 一升 金五圓五十錢
一砧木用桑種子 一升 金三圓五十錢
兵庫縣川邊郡 阪上產樹園 振替大阪一九二三

最新刊
ポケット日鮮語會話
露西亞に遊びて

京城本町 大阪屋號

……に於て新に第三次の攻勢運動 ○世界大戰以來、既に四星霜を閲し聯合國に比して、一層其の疲弊を爲に海上を封鎖せられつゝあるを[illegible]

元帥杖奉呈の爲に

―御來朝のコンノート殿下米國御著

英國皇帝陛下の御名代として　天皇陛下に元帥杖御捧呈の爲め御來朝の途にあらせらるゝコンノート殿下には此程米國某所に御安著遊ばされたり、今回ジョージ陛下より我陛下に御贈進の元帥杖は

◇元帥杖 〈杖の上端に王冠を附したる長さ ◇十五吋許りの金色の指揮杖〉

「スタッフ」と稱し上端に王冠を附したる長さ十五吋許の金色の指揮杖にて三軍を指揮する元帥の權能を表象する至重至高の武器なりと（東京特電）

特別巡廻

―をまでして

◇加入者の利便を計つてゐるが御祈柄大目に見て欲しい

眼部京城局長は語る『三千三百の電話加入者が毎日頻繁に使用する爲に就ては毫も不便等なきを期するが爲め局内に於ける諸般の設備より

▲交換手 の訓練教育、實業の仕方まで色々意を用ひて努力して居る積りであるが數多き使用者の事であれば中には不便を感ぜらるゝ向もあるべしと豫て思うて居たる故に公衆との事務疏通に就ても充分にして不徹底の點なきやう又改善すべき點を發見せば直ちに相當の措置を講ずる樣心懸けて居るが夫れにても御交換手の用樣が遲いとの

▲小言は 斷はざる樣にて毎に加入者の宅を見廻りて機械の故障あるや否を檢査する吏員にも吩咐けて成可機械のことのみでなく一般電話使用上の便不便より機械の移轉、撤設等一切電話事務に關する用向は其際加入者より聞き

▲敏速に 事を運ぶ樣仕向けて居るが夫れでも尙他を見らざるを感じ今回は電話係の幹部に於ける將の責任者を局內事務の暇々を見て時々特別に加入者を見廻り交換事務の實績を調べ遲延なきか如何かを調べしむる事とした此

▲特別巡 廻の結果公衆との關係上得る所多かるべきは疑なく又面白き事柄も發見すべしと期待して居るから有り次第發表して見る積りである因に申し述ぶは交換手の職に就かしむるにも矢張り相當の期間教育を施すを要し殊に昨今の如き何れの方面にも良き

▲人間を 得難き時節柄なれば質の善良なる應募者少き故益々教育上にも又實務上にも差支少からず是等の見習生が見習を終りて是から本舞臺の交換臺に就きて三千三百の加入者を向ふに廻して活きた仕事を演じ始むるに方りてや

▲馴れざ る中は兎角誤謬遲延の多少あるは免れざる次第にて是等の新參交換手も多數一時に配附する譯にあらずして既に熟練せる多數の交換手の中に一、二人づゝ組合せて就業せしむる樣に按排して居る次第なれば大方公衆にも是等の點に對しては少しく

▲大目に 見て貰ひたい併し多少にても不都合不便あらば遠慮なく申告せられん事を希望す因て以て苟も缺點を發見せば改善の資となし又不馴の交換手を訓練する材料ともなる譯である』

◇閑院宮殿下

巡艦龍田の進水式に台臨の閑院宮殿下は佐世保より二十九日午後五時四十六分門司驛御著下ノ關へ御渡航同七時十分發列車にて御歸京の途に就かせられたり（門司特電）

伏見恭子女王御降嫁の儀

―廿九日向ヶ岡彌生町淺野侯邸にて

伏見宮博恭王第一王女恭子女王殿下には二十九日淺野長勳侯令孫長武氏に御降嫁遊ばされたり右に就き同日午前九時殿下は華頂宮邸より麴町紀尾井町の伏見宮御本邸に成らせられ御告別の式あり正午御本邸御出門近衞騎兵護衞の下に向ヶ岡彌生町淺野侯邸に著せられ嚴肅なる御式ありたり（東京特電）

恭子女王殿下は昨年學習院を卒業せられ其の後も引きつゞき書を小野鵞堂氏、繪畫を荒木寛友、華道を小林鈴子の諸氏について御修業遊ばされ又長武氏は帝大文科にて史學の研究中なりと

天刑病者の樂園（上）

全南小鹿島の慈惠醫院

小鹿島慈惠院長 蟻川亨氏談

全南唯一の天刑病患者收容所として知らるゝ小鹿島慈惠醫院長蟻川亨氏は語つて曰く

▣小鹿島は 全南高興郡の沖合にある一孤島で目下百八十戶四百人の鮮人が居住して居る、小鹿島慈惠醫院は主として世に捨てられ親兄弟にも見捨てられた憐れむべき天刑病者を收容し、兼ねて普通患者の診療に從事する爲め新設せられたもので、昨年五月總督代理芳賀博士の臨席を俟つて

盛大なる開院式 を擧行した建物は島の西端に位し總面積二十萬坪と云ふ頗る宏大な敷地を有つて居る、此敷地は東から西へ踏ん跨つた山を以つて南北に區劃せられて居るが、病院では之を健康地帶、有毒地帶に分ち山の南方を總て

▣有毒地帶 とし此處に溫突式病室を設けて癩患者を收容して居る、病室は夫婦病室三棟、女病室六棟、男病室十棟、隔離病室一棟合計二十棟あり何れも小高い丘の上に建てられ夫婦病室と女病室は道を隔て、男病室と相對して居る、病室を溫突にしたのは成可く鮮人の

日常生活に合致 せしめ度いと思つたからで百人位の患者ならば樂に收容する事が出來る、診療所は山の頂上に設けてある、そして之を中心とし東西に鐵條網を張つて交通を遮斷し、癩患者は專ら南側で診療し一般患者は反對の側即ち北側で診療する事になつて居る

▣現在患者 は男六十名女十四名合計七十四名であるが之を地方別にすると最も多いのは全南と慶南で次は慶北、全北、江原道と云ふ順序である、京畿道と平北は一名宛しか居ない、其筋の調査によると朝鮮には尙此外二千名からの癩患者が居るが慶南と全南が殆んど

其過半數を占め て居るのは一驚に値する、尤も之と云ふ譯ではなく此地方は氣候が好いので各地から流れ込んで來た患者も尠くないらしい、患者は總て輕症患者、重症患者に分ち輕症患者に對しては隔日に一回繃帶を取り代へ重症患者には毎日醫員の方から進んで病室に出懸け

▣手當を加 へる事にして居る、尙不潔は本病に取つて最も忌むべき事なので患者は悉く入浴を勵行させ又毎日入浴を缺さぬ樣に勵行して居る、診療の際は顏も手足も悉皆包み病毒に傳染せぬ樣注意して懸るのだが、孜々として手當を懶らぬのと氣候が好いのとで患者は次第に元氣になり收容當時に比べると見違へる程綺麗になつた

◇美上作

◉モ式東京へ 岡山東京間のモ式六號機大飛行は三十一日朝岡山出發の筈也（岡山電報）

◉貧困モヒ患者 既報の如く京畿道警務部にてはモルヒネ中毒患者は無料にて治療を受くることを得べく又貧困者には收容中食料の給與をも爲すべきに付同患者は速に施療を受くべしと

鍾路小學校記念式

公立鍾路尋常高等小學校にては來る六月二日開校記念日に相當するより同日午前八時半より記念式を擧げ九時より本府編修官山淵光氏のお伽講演を聽く由なり

◉千六百圓拐帶 大邱府西城町洪八卦（三一）林尙善（三二）李泰八（三二）の三名は現金千六百圓を拐帶し內地へ高飛びせんと釜山へ向ひたる形跡ありとて取押方を依賴し來りたれば釜山署にて警戒中廿七日草梁派出所にて右三名を取押へ二十八日大邱へ送還したり（釜山）

◉九管疑獄公判 六月一日より開廷

九鐵管理局疑獄事件公判は六月一日より開かるべく被告二十八名辯護士三十餘名傍聽新聞記者三十名にて毎夜の十時迄開廷の筈（福岡電報）

草刈から農民紛爭

―全南隱跡寺山にて

去る五月十九日全南海南面道に於て人農民が大紛擾を釀したる事件の詳細を聞くに五月十七日海南面番校里民約四五十名が草刈の爲め隱跡山に至りたるに同所にて玉泉面巨五里民と馬山面松石里民も共に來り居れり談農民等は

▼草刈の 爲來り居れり該農民等は從來より肥料用として隱跡寺所有山の雜草を刈り採り其代價として毎年一戶に付麥五升宛を該寺に納むる習慣なりしが逐年山野の雜草減少し海南側は地勢の關係し僅かに雜草あるのみなるより海南面民は此區域內に於る他面者の

▼採取を 排斥するより玉泉面巨五里民及び馬山面松石里民は其の不都合を憤り翌十八日約百五十名隱跡山に集合し海南面番校里民の來るを待ち同里民約七十名同所に至るや之を毆打して爭鬪を惹起し茲に於て海南面番校里民は翌十九日約二百名同山に至り前日の

▼恨を返 さむとせしも相手方なる巨五里民及び松石里民は退却し且つ警察官の鎮撫に依つて大事に至らずして解散せり

苺の調理

◇苺のシラップ 日家庭で出來る色々の

シラップ

季節の果物として苺が第一ですこれは在る間が至て短いので自然に貯藏の法を心得る事になります先づ苺五百匁のへたを去り洗つて水を切り五百匁の砂糖を混ぜて器に入れ突き潰して二日許り置くと多量の汁が出來ますその汁を漉して鍋に入れざつと火を通せば苺のシラップが出來るのです。夏季氷店で用ひるのは純シラップでは在りません、このシラップを一年も貯藏するには一合入でも二合入でもよいのですが薄い底の廣い硝子壜に八分目の程度に入れ緒で栓をしつかりします。鍋に水を入れその中に壜に詰めてシラップを出來たとけ並べ一時間位も煮ればよいのでかうして置けば何時でもアイスクリームの材料にも使へ氷の中に入れる事も出來ます。汁を採つた殘りのつぶ〳〵の分はその儘煮詰めればジャムとなるのですが砂糖はこの場合には入れなくてもよいのです。

ストロベリースポンヂ

材料はゼラチン九枚（ゼラチンの代用として寒天一本の七分でもよし）砂糖五十匁、いちご汁一合、レモンエッセンス小匙一ぱい、熱湯七勺、苺三十粒、牛乳一合、玉子白味三つ分 ゼラチンは水に浸してよく千切つておきます。熱湯に砂糖を加へゼラチンを入れて煮溶かして漉しそれに牛乳を加へ玉子の白みを入れて泡立たせ混ぜた上苺の汁を加へます、苺のへたを採つて洗ひ水を切つたのを淺いコップの樣な器の中に五粒でも三粒でも人數に應じて入れその中へ前の煮汁を人數に割つて注ぎ分けますると美味しいゼリーが出來ます。

ミルクゼリー

材料は苺百匁に牛乳二合、ゼラチン十枚、白葡萄酒大匙三ばい（凡そ三勺）砂糖六十匁。へたをとり洗つた苺へ先づ二十匁許りの砂糖を加へ白葡萄酒をつけて浸し次ぎに水に浸したゼラチンの水氣を去つて鍋に入れ牛乳を加へ次に殘りの四十匁の砂糖を入れ溶けるまで煮ます。苺を下敷にしてその煮汁をかければ前のとは色どりの違つた今度は苺の赤と周圍の白とが美しいゼリーが出來ます。

ジョートケーキ

これは到來ものゝカステラなどが少し固くなつた時に薄く切つて苺のジャムを間に挾みますと大へん結構に戴けます。

天勝一座

京城日報讀者優待割引券

割引料金		普通料金	
特等	一圓	特等	一圓卅錢
一等	六十錢	一等	八十錢
二等	五十錢	二等	六十錢
三等	三十錢	三等	四十錢

此割引券は廿八、廿九、卅、卅一日の四日間刷込候故切拔御使用被下度候

京城日報社

好評の經濟的事務用（金ペン付）パインビジネスペン 定價金壹圓九拾五錢 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

總督部許可 衞生無害 蠅取散 室內の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死するは請合なり其他戶外に出でアラユル害虫に有効 引請捌元 全鮮一手 京城南米倉町交番前 島田藥房 各地藥店雜貨店に販賣す 特約店及び商希望の方照會乞ふ

京日案內 番外

乳母入用 但御預致してもよし 太平町二丁目四五 更科支店 電話六九八番

女事務員募集 希望者は履歷書持參あれ（電話二三五〇番）南山町一丁目上る 朝鮮及滿洲社 15

女髮結すき手至急入用 但年齢十四五歲より十七八歲迄希望者來談あれ 京城壽座前松本こふ 127

京城名物 香は生々酒は白鶴夏向御一酌は旭町一丁目出雲やに限る 鰻まむし本店 電話一八一五番 10

生後二十日男子にして血統正しく壯健なる者愛兒の方に遣りたし（姓名在社）142

恩給 年金長期低利御立替 外一切擔保貸附 公債債券物價買 京城若草町百六一番 西村商會 電話三〇一一番 69

勸業債券高價買入 六六回拾圓弍拾六八圓拾圓にて買入ます 京城太平通一ノ一三 電二七九三番 朝鮮產業社 54

恩給 年金長期低利立替 但しコノ際四年分迄 恩給ニ對スル保險不要 京城日之出町十一 日之出學校裏門前 吉田屋 111

金銀細工職工入用 至急 特に高給優遇す御望の方は御來談 黃金町三丁目 清水製作所 114

朝鮮語科 英語科 新學期三ヶ月修業 各級補缺募集 外人二名出席 南門通漢城銀行向ヒ 京城青年會 34

はねつき うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 24

年金 恩給 最長期即時立替 利安前引なし 保險不要 商品陳列館前 ▲京城永樂町 江州屋本店 45

自玉 ポートワイン 京城若草町 電話二七四番 139

▲果實蜜 ▲果實酒 ▲燒酎 ▲味淋 賣出し 京城若草町 電話二七一四番 發賣元 明神組商會 18

採用 高等商業學校及私立大學商科政治經濟科卒業のもの採用 履歷書携帶出所あれ 京城旭町二 商業興信所

わさび粉 湯で溶し二三分間密閉し置けば香色辛共に生わさびと同じ比類無し 靜岡名產 一瓶三十錢 京城永樂町一 中野商店 63

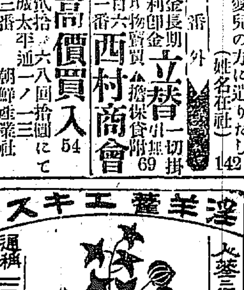
貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話西二〇番・五八番 振替貯金口座京城八四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

優等清酒

釀造元 廣島縣西條町 木村靜彥 發賣元 京城府鍾路（中央） 河野酒店 電話二三〇入番

西洋料理（會席料理）（從前通り）本日より開業 多年練磨せる佛蘭西式料理法に由り材料を精撰し衞生向に注意し專ら旨味を主眼として貴需に應じ可申候間是非一度御試食願上候 ◆仕出は一品にても御注文次第早速御届仕るべく候 京城南山町二丁目 福住 電話一三三九

淫羊藿エキス 人參と優れる滋養強壯劑



通稱 三枝九葉草エキス

定價	
廿瓦入	金壹圓
卅瓦入	金壹圓五十錢
四十瓦入	金壹圓九十錢
五十瓦入	金貳圓三十錢
送料	鮮內二錢 外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之を服用する時は靈妙なる効驗ありと支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出一地方に限られ人參の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人參を凌駕すとて醫家の重用する所なり然るに如何なる成分が人體に有効なるかは彼の神祕的なる人參と同じく明白ならざるも本劑が殊に効能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり

主効 神經衰弱症 貧血症 肝臟病 腎臟病 胃腸病 生殖器病 リウマチス ヒステリー ヒポコンデリー 老衰 精力減退

以上に依り適應症左の如し

(1) 精力を盛んにし精神を爽かにし氣力を增し元氣を良くす
(2) 思考判斷及記憶力の減耗を除く
(3) 讀書計算の疲勞を癒す
(4) 安眠し赤眼の疲れを癒す
(5) 筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
(6) 消化及便通を良くす
(7) 產前產後及病後の衰弱に良し
(8) 血の道婦人病に良し
(9) 子なき人に良し
(10) 貧血虛弱を癒し營養を良くす
(11) 手足腰腹の冷えるに良し
(12) 梅毒遺精及子宮病に良し
(13) 痳疾に良し
(14) 長壽なるべし

全國一手販賣 朝鮮京城府太平通一丁目 合資會社京城日報社代理部 電話長六〇九番ノ二 振替貯金口座京城三〇〇番

花吹雪

（四十六）

大阪　中谷青霞

『はて迎への駕とは奇しいこと。』
と雲涯律師も眉を顰める。
『迎へとあれば小梅の寮の外にはござるまい、何者が聞き知つて駕を遣し申したか……。』
と清兵衛も不審の顔色。
『今宵の事で御座りますれば、宿の亭主が見舞ひ々々參り合せ、仔細は殘らず存じて居りまする、夜もやゝ更けて歸りの迎ひに、心利かしての迎ひでがな御座りませう、ならば是にて妾はお暇、方丈樣今宵のお禮は又重ねて御意得まするで御座りませう、さらば御免なされませ。』
と唐士は立上る。
『ならば氣をつけてお行きやれ、世には不思議の曲者もある折から不測の災難に會はぬやう重ね〴〵も氣をお附けやれ。』
と律師は何心ならぬ狀、清兵衛は終思案の態に腕を解かす。
『左樣でござれば淸兵衛樣、妾は御免蒙りまする。』
と身もそこ〳〵立出でんとする唐士。
『あゝこれ暫くお待ちやれ、お身一人駕で歸るは危いこと……。』
と淸兵衛漸く面を擡げ、眈となつて唐士を制し止め。
『今宵の危難も事の起りは雄部が詭策御僧の折衝きに尾を卷いて、一時其場は退いて歸つたも、某つら〳〵考ふれば胸に一物思案の臍何事か二の手を案じてのこと、存ずるが何うおはさう。』
『さればおや、それを思ふ故に有體愚僧も心配のして居る次第……。一何か胸に一物なくては容易に退かぬ柳川香雨、迎ひの駕と云ふも甚だ以て怪しい奴、素ッ首押へて實を吐かすは易けれども、見え透けた策略の底を正面に破るも大人氣なし、よし又全く宿の亭主が心利かした迎ひの駕であらうとも、歸路を擁して奪ひ取る策略も知らぬ柳川にあらねば、其邊にも必ず拔かりは御座るまい、さすれば何れにせよ唐士どのを一人駕で歸すと云ふは石を抱いて淵に臨むとも云ふべき事、不測の變は殆んど十中八九ともおはさうか……。策略の裏を掻いて驚かすも亦一興、別儀なければ此上もない重疊、今宵は恐れ乍ら唐士どのを當院にお預け申し、某潛かに其駕に乘り込み策略の有無を見屆ける覺悟、裏の裏行く方寸でござりまする。』
『うむ奇を制するに奇を以てする頗る妙ぢや、それにて愚僧も安堵する、雄作もなう退いて歸つた胸算の黑白表裏を、淨玻璃の鏡にかくる方寸の奇計、ならば駕をこの緣まで舁き入れさせ、お身潛かに入替つてお乘込みやれ。』
と云乍ら律師は雛僧を招き寄せ、此方へと云ひ含める、承つて引退がると程もなく、前栽傳ひに一挺の女駕は廣緣先に舁き込まれた。
『駕の乘大儀、暫く彼方に休息のおしやれ、女性一人夜更けての歸り、可う氣をつけてお吳りやるやう。』
『心得てムりまする。』
と駕舁共は彼方へ退がる、清兵衛は其儘腦差ぼつ込み、する〳〵と駕の中。
『さらば御僧お頼み申ましたぞ。』
『可うござる、唐士どのこゝこれ心配おしやるな、雲涯確かと預り申した。』
『清兵衛樣、ならば妾……。』
『シッ靜かにおしやれ、今宵は爰に某が便りを待つて明朝にても……。』
と云乍らヒタと駕の垂戸を立てる。
『なれど清兵衛殿、必ず遠慮はおしやるな。』
『可の心得てムりまする。』
と云ふ聲は駕の裡、やがて駕舁は呼び込まれた。

日報俳壇

洪州吟社詠草

砧打つ隣更けたり猫の戀　寸鐵
鑛石を搗く兒の唄や水温む　同
渦卷く煙突に月や猫の戀　鳥月
戀猫の渡る庇や宵の月　泗捷
彼岸會や繪天井光る燭の數　凉火
戰跡の碑がある丘や揚雲雀　同
種苗圃に打つ標木や遠雲雀　鐵騎
古墳守る丘の小家や夕雲雀　同
水温む芹田にお玉杓子かな　馬角
雲雀落つる丘に搖蕩ふ夕日哉　杜子
白雲の映る湖面や夕雲雀　無腸
金魚の園の箕も取る彼岸哉　同

笥 —第四夜、五月二十六日—

□ 芹 郎
苦しみの唄太くうたひ笥長けし
笥の皮ちらけ夜の身をつゝしみけり

□ 浮 碧 樓
うちのものゝ顔がならんで笥を嚙みしめ
次第に美らしくなる笥の皮をちらけ
こゝろづくしの框にたてかけたる笥

□『笥』訂正
草の葉先が鋭くなつて裏通も人があるき

行々子 —第五夜、五月二十七日—

□ 鳥 堂
雨著に日が照つて來て行々子よく鳴く
手紙を出してしまつて葭切なくにまかする

□ 芹 郎
うそ云ひ覺ねて葭切が可愛くなる
あまたの葭切鳴く私の眉見ゆる

□ 阿 皎 良
道のくぼみ續いて葭切こへだたり
畑の荒れゆくまゝに葭切慣れぬ
苫葺かんおもひ夫婦なる行々子

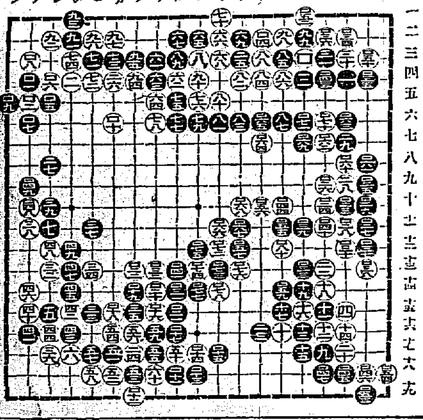
□ 浮 碧 樓
葭切葭も目なれし濃に鳴くここぞ
潮の葭すら〳〵葭切の夜となりゆく
船頭をんなが逃げて葭切の小さなからだが見ゆる

碁戰（九）

大正七年五月二十日於京城日報主催圍碁會（俱樂部）

先 五段 關 源吉氏
三段 山 平壽氏

●一六一	ロの八
○一六二	ニの七
●一六三	ハの六
○一六四	トの七
●一六五	トの六
○一六六	リの十一
●一六七	チの十一
○一六八	チの十
●一六九	ホの七
○一七〇	ニの六
●一七一	ホの六
○一七二	リの十一
●一七三	リの十二
○一七四	ヌの十二
●一七五	ヌの十一
○一七六	チの十三
●一七七	ヌの十四
○一七八	リの十四
●一七九	ヌの十三（へ粘ゾ）
○一八〇	への十三



京城山治町二丁目
入院隨意
胃腸病院
電話一六五六番
院主 佐々木秀造

新刊紹介（到著順）

▲勝友 九の五、五錢、京城本町淨土宗開教院中淨土宗青年會本部
▲電氣旬報（三四）五錢、大阪北區若松町二六 電界社
▲釘本商報（四三）一錢、京城本町二丁目五八 釘本藤次郎本店
▲朝西明鏡 新聞 四錢、山口縣玖珂郡柳井町一九三 共社發行
▲女子教育研究 一の二 二十錢、東京神田區西小川町 明治出版社發行
▲黑水晶後篇（渡邊霞亭） 成金氣質を表裏より描寫して時弊を指摘した小說、面白き恨みの筆に何も……諸者をして卷を措く能はざらしむ 一圓 東京日本橋區本石町三 宅誠堂

讀者の領分

▲電氣會社の或る一人の集金人は自己の利權より三ヶ月集金を怠り乍ら一時に纒めて請求し取鬘全部支拂はざれば消燈すべしと做謂す其の語氣態度恰も因業なるアイスが債務者に向つて貸金を請求するが如く又其變が職權を以て差押へに向ひたる如き觀あり眼中需要者なく横暴なし所の如き者は强に突務させられたし（罷業町人）▲同見よ！貴下は、惡戲中傷的に投書し、以て貴重なる當欄を穢さんやと謂へり然り、成程一見左當の如く見ゆるなりされども誠意を以て思晋せしものにてありしなれば何故其の當初に於て監督者たる所長へ直接之をなさざりしや、故に余輩は貴下の言を以て直ちに至當なる事と認むる能はず、而もかゝる些細なる一事を投書するに當欄を以てし剰さへ貴重なる云々と、余輩は其の矛盾の甚だしきに驚かざるを得ざるなり宜しく自覺すべし（ケイ生）▲役所では相當の椅子に居り敎會でも上席に居り人より尊敬を受くべき地位に在り乍ら牧師のあら探しをして遂々之を逐ひ出したり而も自己の偏狹なる見解より部下に一種の區別を立て、策地を張つて見たり人の惡口を平氣で喋り散らしたりする人物が居ると謂ふことを聞きますと私は敎會の價値に就て疑を挾むさとしに『クリスチヤン』たる者とする私の心の穢先に刺さす。こゝ甚しく又役人なぞの心寄しさが察せられて同情に堪へません（一卿の子）

◎ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フェノールフタレイン』を以て仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす

皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ず可からず

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき處あるものを用ず
一、温雅の芳香を有す
一、細き泡沫を生じ適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

（現品縮寫圖）

種類		
大形	家庭用	金貳拾五錢
中形	携帶用	金拾八錢
小形	旅行用	金拾貳錢
極小	旅館用	金六錢
水石鹼	小壜入	金參拾五錢
	大壜入	金[illegible]

（內地以外は關税運賃を加ふ）

本舖

ミツワ家庭藥
ミツワ規那鐵葡萄酒
ミツワ人蔘葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
發賣 丸見屋商店
電信略號〇ミ 振替口座東京七一〇番 電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.
100 tablets ¥ .50
500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる

◎ミツワ人參錠

主効

神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

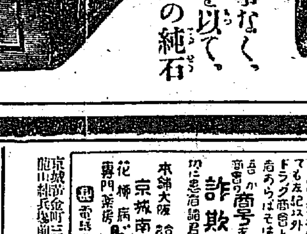
本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして其の治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候、卽ち精神興奮、精神異常、意志薄弱、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰萎等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して、蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退、卽ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、衰弱を明にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

（現品縮寫圖）

定價 一百錠入 金五拾錢　五百錠入 金貳圓　內地以外は關税運賃を加ふ

適應諸症

一、頭が重く頭內が朦朧とする人	一、些細の事を氣に懸ける人	一、物事を深く考へることの出來ぬ人	一、勉强なして直に疲れる人
一、眼の疲れ易い人	一、何事にも怒り易い人	一、物事の理非判斷の出來ぬ人	一、荷物をして疲れ易い人
一、逆上せて苦手となる人	一、悲しい事も無いに泣きたい人	一、物事の記憶の不良い人	一、精神の疲勞を感じ治りたい人
一、眠らうとしても眠れぬ人	一、精神の僻々する人	一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人	一、筋骨の疲勞が强に恐した人
一、眠れて凶い夢を見る人	一、何事も悲觀して厭世的になる人	一、陰萎や遺精で悲觀する人	一、いゝ人
		一、腦神經衰弱に苦しむ人	一、精力が弱くした人
		一、産前産後又病後の衰弱が助けたい人	



京城龍山等各地に僞物有御注意詳細は昨日の本紙を御覽

りん病ばい毒
マにセドラッグあり御注意
近來京城其他各地にドラッグ商會と稱し又はドラッグ類似の商號を用ひて販賣する者あり御注意ありたし
詐欺漢なり
ドラッグ商會の商號を盜用する者あらば何卒御一報を乞ふ
本舖大阪 ドラッグ商會
京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 滿鮮本部
電話二五六七番 振替京城四六七番
京城黃金町三丁目電車通 龍山新兵營前停留所 大阪ドラッグ商會支店

間自動車發著時間

原州江陵間 一日より左記の通り變更仕候
原州發每日午前八時 江陵著後七時
江陵發每日午前八時 原州著後七時
京釜線水原驛前
中央自動車組合
電話一四七番

金泉乃城間自動車著發時刻

下り一番 二番 上り一番 二番 三番
金泉發 乃城著 …
織居自動車部 金泉支部 電話四八番
▲小荷物運搬仕候

汽船 釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸 每月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日（午後十時出帆）
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三森平丸 四月 日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三森平丸 四月 日後六時出
（釜山港濱町新町 本船取扱店）大池回漕部

大阪商船株式會社汽船出帆廣告

仁川出帆
△神戸、大阪行 日清丸 六月八日 後五時出
△日清丸 六月十八日 後五時出
元山出帆
◎淸津行 安平丸 六月五日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 五月三十日 後九時出
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月九日 前六時出
基隆丸 六月廿一日 後四時出
內地各港出帆主要航路
大阪天津行 每月一回
北清行 每月二回
大連行 每月二回
南洋行 每月二回

御注意
○外國航路は諸事務所より午後三時迄に出帆…
京城 仁川 …

日本郵船仁川出帆

○大連行 天津行
相模丸 五月 日 正午出
三河丸 六月九日
高砂丸 五月三十日
仁川海岸町 十一番 電話 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

第一太湖丸 木浦、釜山、下關、大阪行 六月 一日後四時出
秀吉丸 五月 日後四時出
君代丸 五月 日後四時出
大有丸 六月 三日後四時出
仁川海岸通二丁目 五十九番 尾 回漕部

共同汽船仁川出帆

大連直行 （關東都督府命令航路）
共同丸 五月 日後八時出
一大連直行定期航路のため安全迅速な輸送をなす
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三）
仁川代理店 山口商會
元山代理店 田口回漕部
南大門（電話二七六〇八二）
京城取扱店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○敦賀行 清津發城津、元山經由
平壤丸 五月卅一日 清津發 元山發
○浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津、經由
平安丸 六月 四日 元山發
六月 六日 釜山發
○雄基行 關門發釜山各港經由×印江原道寄港
×摩耶山丸 六月 四日 釜山發
咸鏡丸 六月 七日 元山發
六月 九日 釜山發
六月十三日 元山發
○元山雄基線 往復 元山起點各港經由
慈城丸 六月 一日 元山發
○大阪行 浦汐發清津、城津、元山、釜山、門司經由
山陽丸 六月 七日 元山發
六月 九日 釜山發
○關門行 雄基發各地經由×印江原道寄港
×京畿山丸 六月 五日 元山發
六月 八日 釜山發
忠清丸 六月 五日 元山發
○金剛山遊覽便 行月六回但シ自六月至十月五ヶ月間 元山發浦項及各港經由
鏡城丸 月 日 元山發
○鬱陵島行 浦項發浦項及各港經由
咸鏡丸 六月 五日 釜山發
○釜山浦項線 蔚山經由
江陵丸、金海丸 毎日 釜山、浦項發
○濟州島行 釜山發長承浦、麗水、巨文島經由
昌平丸 六月 四日 釜山發
○濟州島行 木浦發
濟州丸 六月 三日 木浦發
○東廻公州丸 西廻公州丸 六月 六日 木浦發
○釜山麗水線 釜山、巨濟丸、統營丸、每日
○木浦麗水線 （以下三日每ニ木浦發）
金海丸 六月 一日 木浦發
○多島海行 （木浦發多島海各港經由）
慶興丸 六月 二日 木浦發
○木浦行 （仁川發各地經由）
西湖丸 六月 三日 仁川發
○海州行 仁川發江華島各港經由
鎭江丸 六月 日 仁川發
○鎭南浦行 仁川發各港經由
全州丸 六月 二日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 鎭南浦大連直行
宗信丸 月 日 鎭南浦發
○明治鐵道及社外船ト聯絡運輸ヲ取扱フ
本社 京城南大門通（電話一二二三・一九五三）
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店 京城取扱店